

## ライフジャケットの使用に関するアンケート調査結果

【水辺でのレジャー活動<sup>1</sup>状況について】

- 水辺でのレジャー活動の経験（複数回答）は、「釣り（陸上から）」が 41.6%で最も多く、男性の回答では全体の 50.0%を占めた。また、女性では「シュノーケリング」と回答した割合が 39.3%と最も高く、全体的に 30 代女性のレジャー経験の割合が他の年代と比べて高い傾向を示した。
- レジャー活動の経験場所では、ほとんどのレジャー活動において、「海」及び「河川」と回答した割合が全体の 7 割以上を占めた。
- 活動の形式・主体としては、すべてのレジャー活動において、「自身／家族のみでの活動」及び「主催者が明らかなもの」が全体の 7 割以上を占める結果となった。

## 【ライフジャケットの着用実態について】

- ライフジャケットの着用状況は、「持参して着用」、「無償または有償でレンタルして着用」と回答した割合が 56.4%で、全体の半数以上を占める結果となった。
- レジャー活動別では、「ボート遊び」や「釣り（陸上からを除く）」、「シュノーケリング」でのライフジャケットの着用率が高い傾向にあった。一方、「釣り（陸上から）」、「魚とり」及び「水辺活動・水遊び・遊泳」では着用率が低い傾向を示した。また、大人と比較すると、子供（小学生以下）のライフジャケットの着用率は全体的に高く、特に「ライフジャケットを持参し着用」と回答した割合が目立った。
- 着用したライフジャケットの種類は、「固型式」が 80.2%で最も多く、次いで「膨張式」が 10.0%、「呼気膨張式」が 6.6%となった。
- 一方、レジャー活動でライフジャケットを着用しなかった理由（複数回答）としては、「水深が浅く溺れる危険性がないから」が 34.6%と最も多く、次いで「水中に転落したり、水に流されたりする危険性が少ないから」が 21.8%、「ライフジャケットをもっていなかった、その場になかったから」が 20.1%と続いた。

## 【ライフジャケット着用時の有用性に関する経験について】

- ライフジャケットの着用に効果がある、着用していたことで助かったと感じた経験が「自身であった」と回答した割合は全体の 10.5%で、「同居者」や「同居者以外」に関する経験を含めた場合の割合は 18.1%となった。
- レジャー活動の種類別では、「自身であった」との回答した割合が「ボート遊び（水の流れる／波が比較的ある）」で 17.7%と最も多く、次いで「釣り（ボートから）」が 13.0%であった。

<sup>1</sup> ライフジャケットの着用義務があるレジャーや、海・川・湖などの自然環境以外でのレジャーは除く。

- 具体的な経験の内容としては、「流木に当たってバランスを崩し落水した時、浮いて救助を待てた」、「不注意で沖合に流された時、浮いて救助を待てた」等が確認された。

【ライフジャケット着用時の不具合に関する経験について】

- ライフジャケットを着用した際に、不具合が生じた経験が「自身であった」と回答した割合は全体の 7.0%で、「同居者」や「同居者以外」に関する経験を含めた場合の割合は 11.4%となった。
- レジャー活動の種類別では、「自身であった」と回答した割合が「釣り（水に入った状態）」で 10.0%と最も多く、次いで「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」及び「釣り（ボートから）」が 8.6%であった。
- 具体的な経験の内容としては、「紐の締め付けが甘く脱げそうになった」、「サイズが大きいため脱げそうになった」、「紐が切れた」等の経験が確認された。

【ライフジャケット非着用時の危害、ヒヤリ・ハット経験について】

- ライフジャケットを着用しなかったことで生じた危険な経験について、「溺れた経験があった」、「溺れそうになった経験があった」、「溺れる以外の危険な経験があった」という回答が合わせて 2.2%確認された。
- レジャー活動の種類別では、「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」及び「釣り（ボートから）」において、「危険な経験があった」と回答した割合が比較的高い傾向を示した。また、大人と比較すると、子供において「危険な経験があった」と回答した割合が多かった。
- 具体的な経験の内容としては、「子供が流されかけて助けに行った時に溺れかけた」、「ミズゴケに足を取られてこけた」、「離岸流に流されてしまい、ボードも無くして溺れた」等が確認された。

【ライフジャケットの所有状況について】

- ライフジャケットを「持っている」と回答した割合は、大人用が 19.6%、子供用が 37.8%であり、子供用の所有率が大人用よりも高い傾向を示した。
- レジャー活動の種類別では、大人用の所有率が「水辺活動・水遊び・遊泳（水の流れがあまりない／波が穏やか）」では 5.6%、「ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）」では 8.4%と、全体の 19.6%を大きく下回る結果となった。
- ライフジャケットの使用用途としては、大人用では「釣り（陸上から）」が 39.6%、子供用では「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」が 39.9%で最も多かった。
- 所有しているライフジャケットの安全性に関するマークや表記については、大人用・子供用ともに「桜マーク」と「CS マーク」が占める割合が高い結果となった。
- 一方、ライフジャケットを持たない理由としては、「使用頻度が少ない」が大人用 34.1%、子供 30.0%、「レンタルすればよい」が大人用 31.7%、子供 34.4%と、大人用・子供用ともに高い結果となった。
- ライフジャケット所持者の購入金額としては、大人用・子供用ともに「4,000 円～7,000 円未満」と回答した割合が最も多く、全体の 2 割以上を占めた。一方、非所持者にお

る購入希望金額では、「2,000円～4,000円未満」と回答した割合が多い結果となった。

- ライフジャケット所持者の購入場所としては、大人用・子供用ともに「スポーツ用品店」と回答した割合が最も多い結果となった。これは、非所持者における購入希望場所も同様の結果であった。

#### 【ライフジャケットの正しい使用方法の認知について】

- ライフジャケットの本体に記載されている注意事項や取扱説明書を「全部読んだ」と回答した割合は全体の4割を占め、次いで「一部読んだ」が3割を占めた。一方で、「読んでない」と回答した割合は約14%であった。
- ライフジャケットの使用前確認については、「毎回、確認している」が45.4%で最も多く、次いで「時々、確認している」が35.5%、「確認していない」が17.9%となった。特に、子供用のライフジャケットで使用前確認を「毎回、確認している」と回答した割合が高い傾向を示した。

#### 【ライフジャケットに関する知識の認知について】

- ライフジャケットに関する知識（複数回答）については、「水の事故は大人でも多く起こっていること」が37.5%で最も多く、次いで「着用時は非着用時と比べて、水の事故時の生存率が上がること」が32.6%、「ライフジャケットのサイズが大きかったりベルトの締め付けが緩いと、水中で脱げてしまう場合があること」が26.8%となった。
- 所持別の認知度をみると、全体的に非所持者に比べて所持者の認知度が上回っており、ほとんどの項目において、認知度に約15%の差が確認された。
- 所持者においても「固型式ライフジャケットの上に重いものを載せると、潰れて浮力が低下する恐れがあること」をはじめ、製品の使用方法等について認知度は低い傾向であった。

#### 【ライフジャケットに関する意見・要望について】

- ライフジャケットの改善点（複数回答）については、「持ち運びのしやすさ、保管のしやすさ」が28.6%で最も多く、次いで「動きやすさ」が25.2%、「メンテナンス（部品交換、使用前点検など）の容易さ」が22.5%となった。その他の回答として、「価格」に関する回答が多く確認された。
- 普及のために必要な取り組みや環境（複数回答）については、「購入しやすい価格のライフジャケットの普及」が31.2%で最も多く、次いで「折り畳めたり、コンパクトに収容できるなど、持ち運びしやすいライフジャケットの普及」が27.6%、「レジャーを行う場所や近隣店舗でのライフジャケットの貸出の推進」が23.7%となった。

## 第1 調査概要

### 1 調査対象者と有効回答数

#### (1) 調査対象者

下記の条件を満たす者を、調査対象者とした。

- 東京都に居住する18歳以上
- 予備調査において、過去5年間に、海、川、湖、池等（自然環境）で水辺のレジャー活動の経験<sup>\*</sup>があると回答した者

※ ライフジャケットの着用義務があるレジャーや、海・川・湖などの自然環境以外でのレジャーは除く。

#### (2) 有効回答数

2,000件

#### (3) 調査方法

インターネットアンケート調査

#### (4) 調査実施期間

令和6年10月23日（水曜日）から10月25日（金曜日）まで

#### (5) 集計・分析に関する注釈

- 回答比率（％）は、小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、記載した回答比率を合計しても100％とならない場合がある。
- 設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100％を超える場合がある。
- 図に表記される「n=\*」（\*は数字）は、対象の母数を表す。
- 図や表中で、選択肢の文章が長い場合に簡略化して表記しているため、実際のアンケート調査における文章表記とは一致していない場合がある。

## 第2 アンケート結果

### 1 水辺でのレジャー活動経験の状況

問 過去5年間に、あなたは海・川・湖などの水辺で以下のレジャー活動を行ったことがありますか。

水辺でのレジャー活動経験について図1に、性年代別のレジャー活動経験を図2に示す。図1では、本アンケート調査の対象となるレジャー活動を青色の棒グラフ、対象外のレジャー活動を緑色の棒グラフで表示した。なお、全体のN数は回答者数(2,000)とした。

調査対象のレジャー活動は、「釣り(陸上から)」が41.6%で最も多く、次いで「シュノーケリング」が34.7%、「水辺活動・水遊び・遊泳(水の流れがあまりない/波が穏やか)」が32.0%となった。一方、調査対象外のレジャー活動を含めた場合、「水遊び・遊泳(プール)」が45.4%で最も多く、次いで「釣り(陸上から)」が41.6%、「遊覧船の乗船」が41.4%であった。

調査対象のレジャー活動について男女別に見ると、男性の回答で最も多かったのは「釣り(陸上から)」の50.0%、女性では「シュノーケリング」の39.3%であった。年代別では、男性の18~29歳において「ボート遊び(水の流れがある/波が比較的ある)」の回答割合が42.3%と高く、女性では30代のレジャー経験の割合が他の年代と比べて高い傾向を示した。

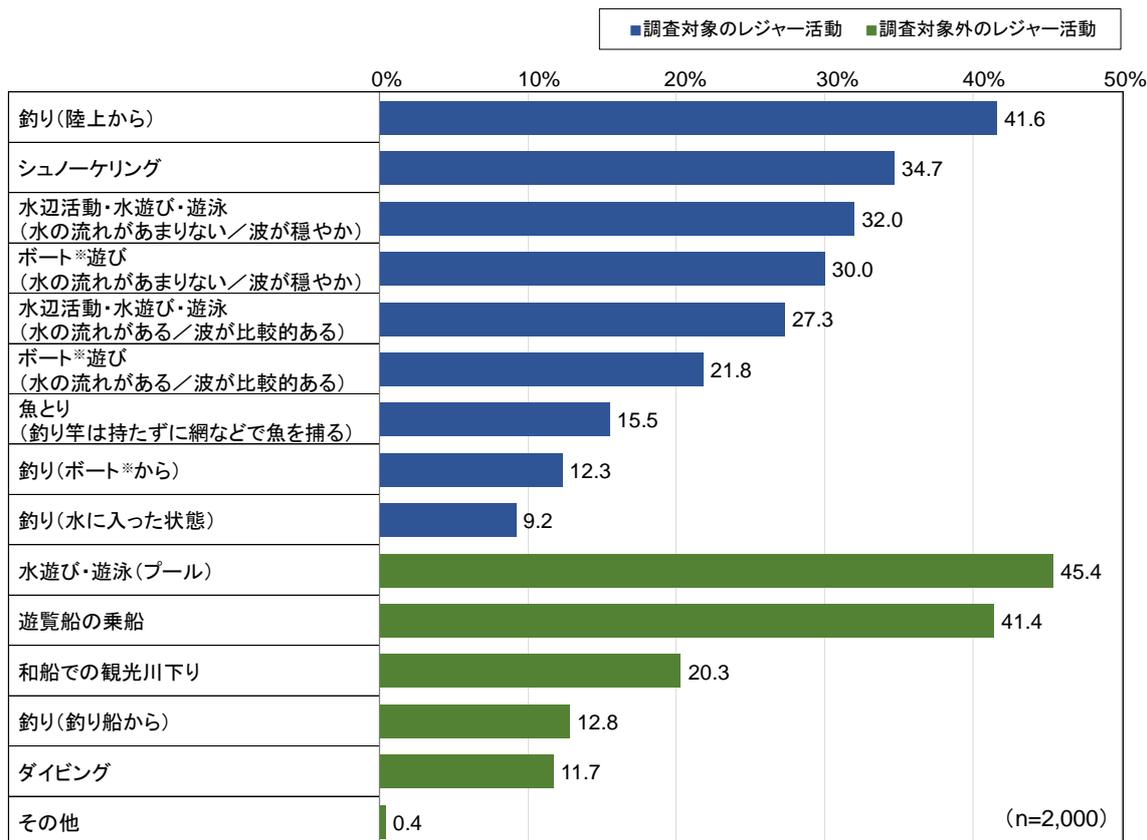


図1 水辺でのレジャー活動経験の状況(複数回答) SC4

※ 「ボート」とは、カヌー、カヤック、SUP(スタンドアップパドルボート)、ゴムボート(ラフティング含む)、ミニボート、手漕ぎボート等を指す。(以下同様)

[%]

性年代別	(n)	釣り（陸上から）	シュノーケリング	水辺活動・水遊び・遊泳 （水の流れがあまりない／波が穏やか）	ボート遊び （水の流れがあまりない／波が穏やか）	水辺活動・水遊び・遊泳 （水の流れがある／波が比較的ある）	ボート遊び （水の流れがある／波が比較的ある）	魚とり （釣り竿は持たずに網などで魚を捕る）	釣り（ボートから）	釣り（水に入った状態）	水遊び・遊泳（プール）	遊覧船の乗船	和船での観光川下り	釣り（釣り船から）	ダイビング	その他
男性 計	1,082	50.0	30.6	28.5	29.5	26.9	22.5	17.1	15.3	11.0	43.2	40.4	19.8	15.2	12.3	0.5
18～29歳	123	40.7	33.3	26.8	34.1	34.1	42.3	18.7	23.6	13.8	48.8	40.7	26.8	13.0	16.3	0.8
30～39歳	202	51.5	30.7	23.3	30.2	27.2	31.2	16.8	17.8	18.8	37.1	41.6	23.8	19.8	19.3	0.0
40～49歳	214	52.3	30.8	35.0	22.9	27.6	22.4	17.3	15.4	11.2	47.2	40.7	19.2	15.9	10.7	0.0
50～59歳	183	52.5	33.9	24.6	26.2	29.5	18.6	18.0	14.2	7.1	41.5	35.0	16.4	9.3	7.1	1.6
60歳以上	360	49.7	27.8	30.0	33.1	22.5	12.8	16.1	11.7	7.5	43.1	42.2	17.2	16.1	10.6	0.3
女性 計	914	31.7	39.3	36.2	30.5	27.9	21.0	13.5	8.8	7.1	48.0	42.5	21.0	9.8	10.8	0.3
18～29歳	153	36.6	35.9	26.8	31.4	29.4	26.8	13.7	11.1	7.2	37.9	39.9	21.6	10.5	9.2	0.0
30～39歳	213	36.2	42.3	41.8	32.9	31.0	30.5	16.4	16.4	16.4	53.5	39.0	25.4	16.9	12.2	0.0
40～49歳	186	29.0	38.7	43.0	29.0	30.6	14.5	11.3	2.7	5.9	51.1	43.0	19.4	6.5	11.3	0.5
50～59歳	166	29.5	43.4	33.1	22.3	23.5	18.1	11.4	7.2	1.2	44.0	38.6	15.7	4.8	12.7	1.2
60歳以上	196	27.6	35.7	33.7	35.7	24.5	14.8	13.8	5.6	3.1	50.5	51.0	21.9	9.2	8.7	0.0
回答したくない	4	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0

図2 性年代別のレジャー活動経験の状況 SC1×SC2×SC4

## 2 水辺でのレジャー活動の実態

### (1) 水辺での活動経験場所

問 過去5年間の間に行った水辺でのレジャー活動のうち、最新もしくは最も記憶に残っている経験について、活動を行った場所はどこですか。

水辺でのレジャー活動の経験場所について図3に示す。経験場所の回答割合は、ほとんどのレジャー活動で、「海」及び「河川」が全体の7割から8割を占めた。一方、「ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）」では、「湖・池など」が47.2%と約半数を占める結果となった。また、「シュノーケリング」では「海」が83.1%で、他の場所と比べて特に高い傾向を示した。

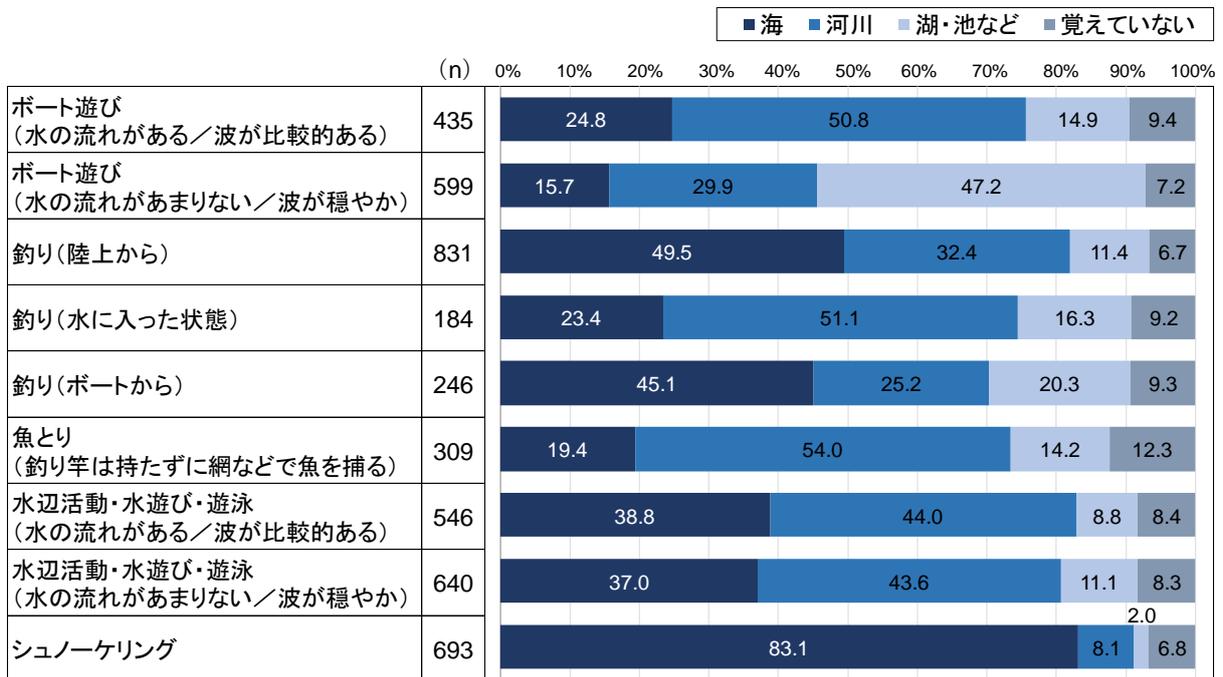


図3 水辺での活動経験場所（単一回答）Q1

(2) 活動の形式・主体

問 過去5年間の間に行った水辺でのレジャー活動のうち、最新もしくは最も記憶に残っている経験について、どのような形で行いましたか。

水辺でのレジャー活動の形式・主体について図4に示す。活動の形式・主体の回答割合は、すべてのレジャー活動において、「自身／家族のみでの活動」及び「主催者が明らかなもの（体験ツアー、イベント、競技大会等）」が全体の7割から8割強を占める結果となった。特に、「自身／家族のみでの活動」においては、「釣り（陸上から）」が67.7%、次いで「水辺活動（水の流れがあまりない／波が穏やか）」が69.7%と高い傾向にある。一方、「主催者が明らかなでないもの（友人との活動、サークル活動等）」については、「釣り（ボートから）」が17.5%と最も多く、次いで「釣り（陸上から）」が15.0%となった。

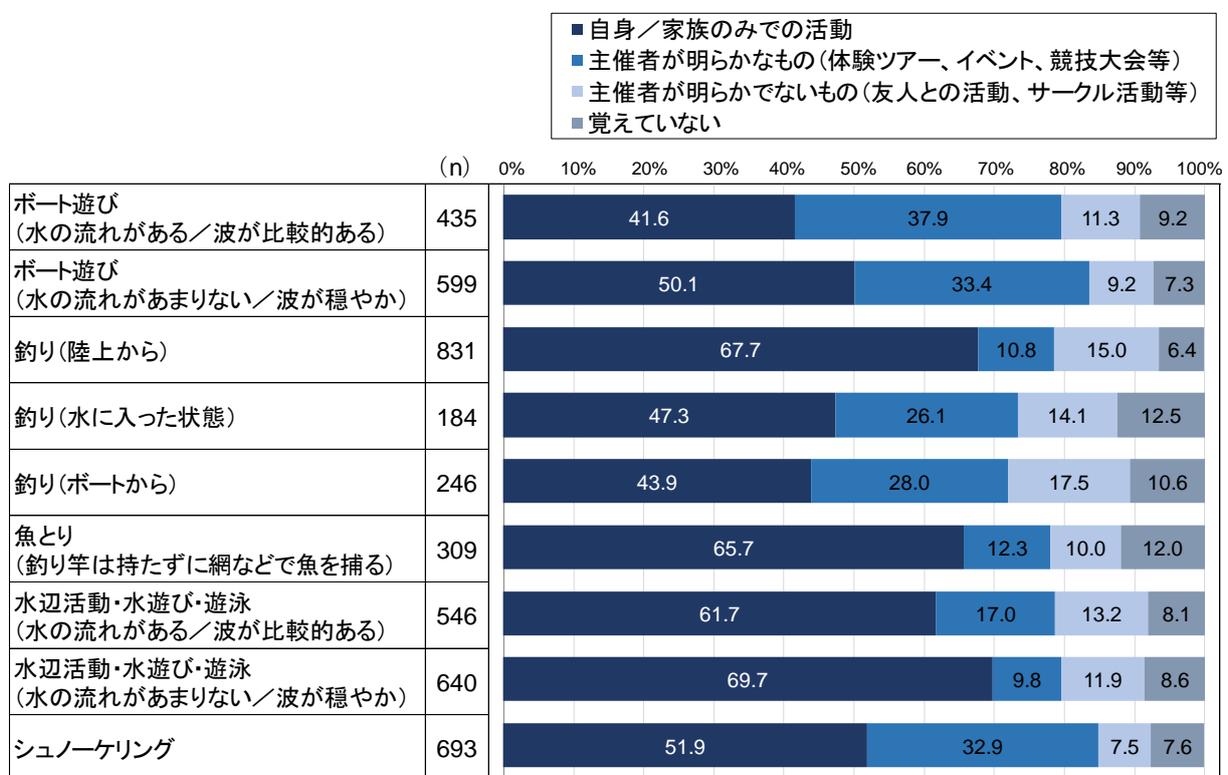


図4 活動の形式・主体（単一回答）Q2

### 3 レジャー活動におけるライフジャケットの着用状況

#### (1) ライフジャケット着用の有無

問 レジャー活動中、ライフジャケットを着用しましたか。【あなた自身／同居の大人（中学生以上）／同居の子供（小学生以下）※】

ライフジャケット着用の有無について図5に、レジャー活動の種類別にみた着用状況を図6に示す。なお、全体のN数は「あなた自身」、「同居の大人（中学生以上）」、「同居の子供（小学生以下）」の回答数から「活動に同行していない・同居していない」と回答した者は除外した合計（9,301）とした。

全体でみると、「ライフジャケットを着用せず、浮き具（浮き輪等）も使用しなかった」と回答した割合が28.7%で最も多かった。一方、「ライフジャケットを持参し着用」、「無償で借りたライフジャケットを着用」及び「有償で借りたライフジャケットを着用」のいずれかでライフジャケットを着用した割合は56.4%で、全体の半数以上を占める結果となった。

レジャー活動の種類別では、「ボート遊び」や「釣り（陸上からを除く）」、「シュノーケリング」でのライフジャケットの着用率が高い傾向にあった。一方、「釣り（陸上から）」、「魚とり」及び「水辺活動・水遊び・遊泳」では着用率が低い傾向を示した。また、大人と比較すると、子供（小学生以下）のライフジャケットの着用率は全体的に高く、特に「ライフジャケットを持参し着用」と回答した割合が目立った。

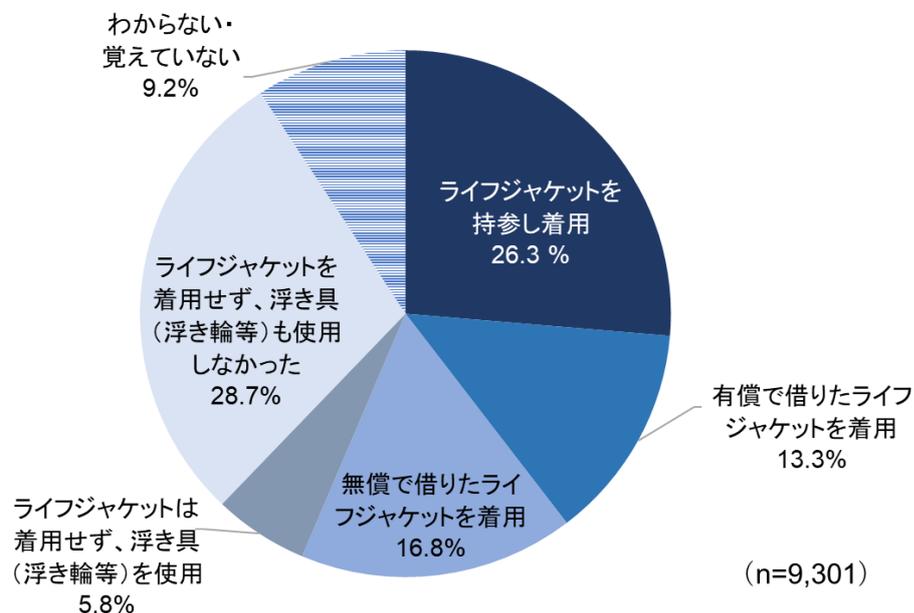


図5 ライフジャケット着用の有無【全体】（単一回答）Q3~11\_1

※ 「同居の子供（小学生以下）」に関する選択肢については、あらかじめ実施した予備調査において、レジャー活動経験のある小学生以下の子供の有無を質問し、「小学生以下の子供と同居している」と回答した者を対象に、アンケート調査を実施した。（以下同様）

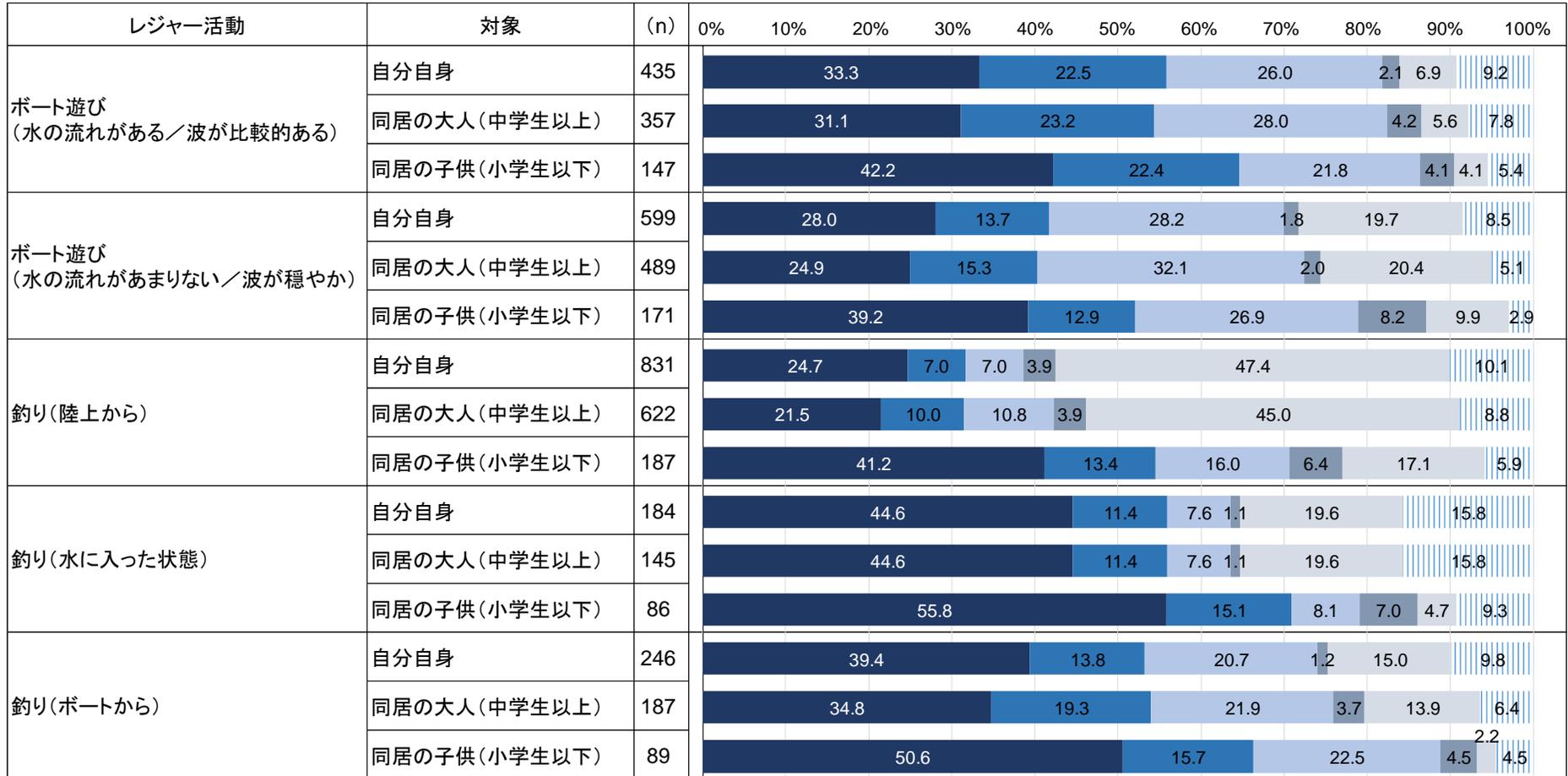
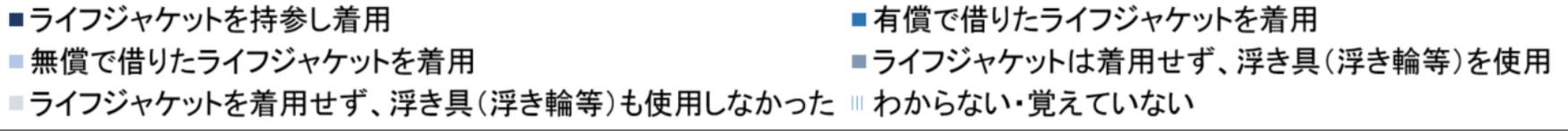


図6 レジャー活動別のライフジャケット着用の有無 Q3~11\_1

- ライフジャケットを持参し着用
- 有償で借りたライフジャケットを着用
- 無償で借りたライフジャケットを着用
- ライフジャケットは着用せず、浮き具(浮き輪等)を使用
- ライフジャケットを着用せず、浮き具(浮き輪等)も使用しなかった
- わからない・覚えていない

レジャー活動	対象	(n)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	自分自身	309	21.0	6.8	6.1	2.6	47.2	16.2					
	同居の大人(中学生以上)	263	20.9	6.5	9.9	4.2	45.2	13.3					
	同居の子供(小学生以下)	104	43.3	7.7	9.6	7.7	26.0	5.8					
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある/波が比較的ある)	自分自身	546	21.8	10.3	14.1	8.6	34.1	11.2					
	同居の大人(中学生以上)	445	21.3	12.4	15.1	9.2	32.8	9.2					
	同居の子供(小学生以下)	154	42.2	12.3	13.0	12.3	16.9	3.2					
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない/波が穏やか)	自分自身	640	13.3	7.3	7.5	8.8	49.8	13.3					
	同居の大人(中学生以上)	506	14.6	7.5	9.5	10.3	48.8	9.3					
	同居の子供(小学生以下)	170	29.4	9.4	10.6	20.6	26.5	3.5					
シュノーケリング	自分自身	693	21.1	18.8	21.4	5.9	23.1	9.8					
	同居の大人(中学生以上)	551	20.0	21.4	22.1	8.2	20.1	8.2					
	同居の子供(小学生以下)	145	37.9	22.8	19.3	9.0	6.9	4.1					

図6 レジャー活動別のライフジャケット着用の有無(続き) Q3~11\_1

## (2) 着用したライフジャケットの種類

問 「着用した」と答えた方に) レジャー活動中、着用したライフジャケットの種類をお答えください。【あなた自身／同居の大人(中学生以上)／同居の子供(小学生以下)】

着用したライフジャケットの種類について図7に、レジャー活動の種類別にみたライフジャケットの種類を図8に示す。なお、全体のN数は、各レジャー活動におけるライフジャケット着用の有無で、「ライフジャケットを持参し着用」、「無償で借りたライフジャケットを着用」及び「有償で借りたライフジャケットを着用」を選択した回答者数(「あなた自身」、「同居の大人(中学生以上)」、「同居の子供(小学生以下)」の回答をすべて含む)の合計(5,243)とした。

全体で見ると、「固型式」が80.2%で最も多く、次いで「膨張式」が10.0%、「呼気膨張式」が6.6%となった。

レジャー活動の種類別においても、すべてのレジャー活動において「固型式」の回答割合が際立って高い結果となった。

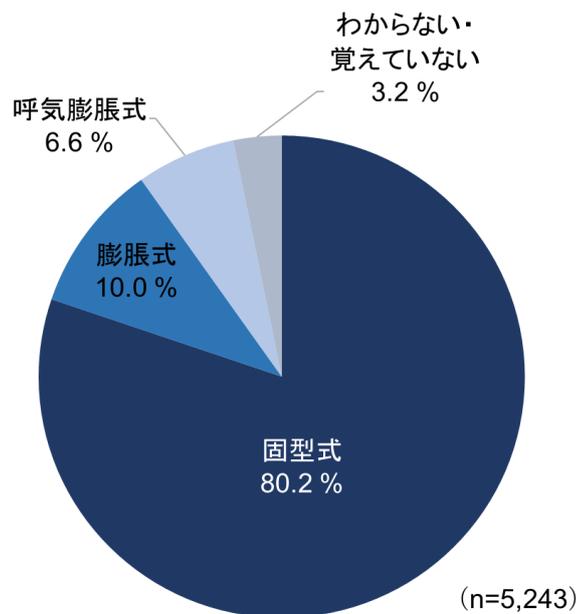


図7 着用したライフジャケットの種類【全体】(単一回答) Q3~11\_2

■ 固型式 ■ 膨脹式 ■ 呼気膨脹式 ■ わからない・覚えていない

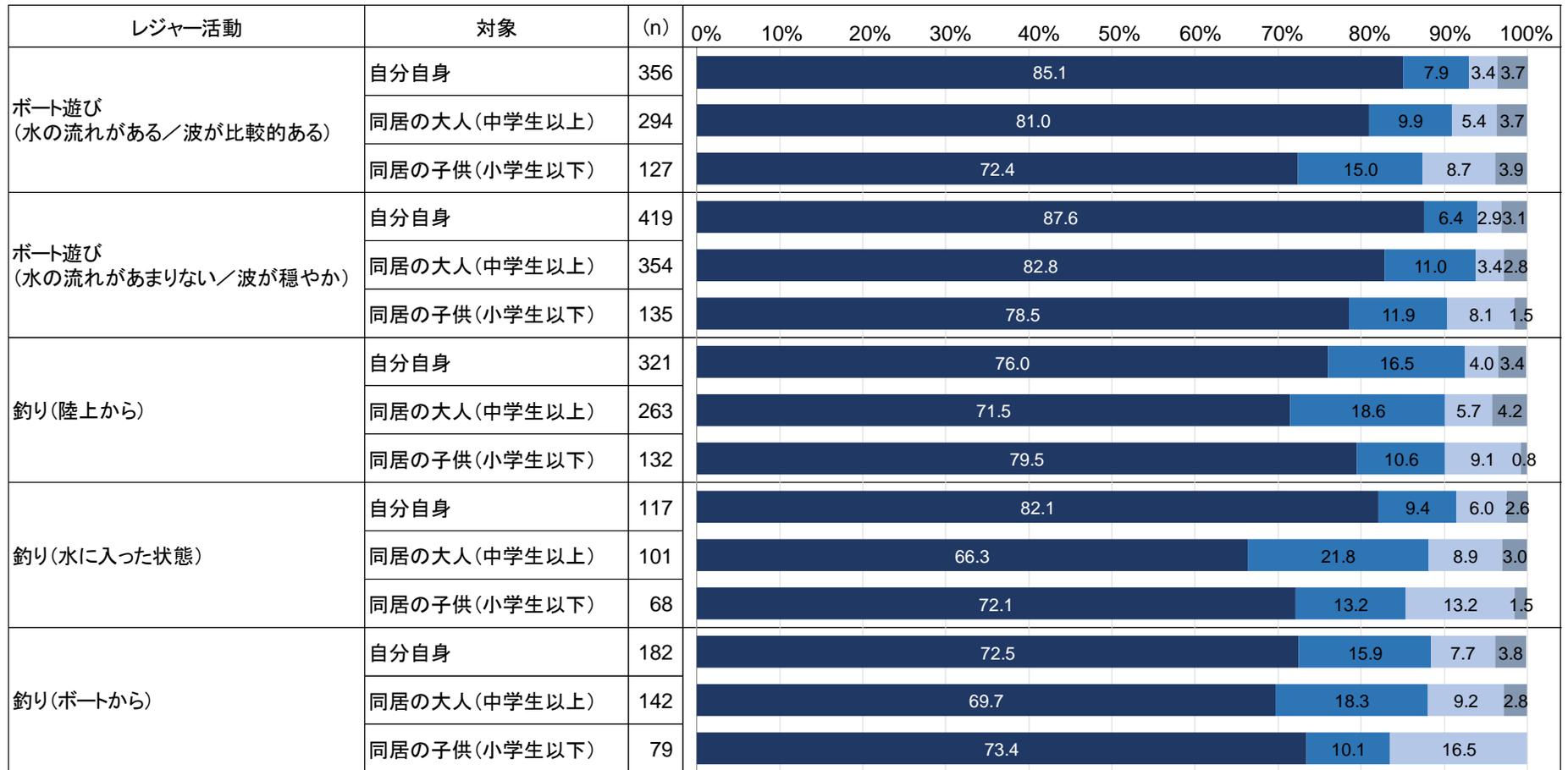
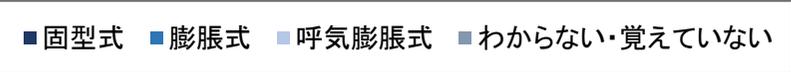


図8 レジャー活動別の着用したライフジャケットの種類 Q3~11\_2



レジャー活動	対象	(n)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	自分自身	105	78.1 9.5 9.5 2.9										
	同居の大人(中学生以上)	98	72.4 14.3 10.2 3.1										
	同居の子供(小学生以下)	63	82.5 3.2 14.3										
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れる／波が比較ある)	自分自身	252	85.7 6.3 7.5 0.4										
	同居の大人(中学生以上)	217	80.6 9.7 8.3 1.4										
	同居の子供(小学生以下)	104	78.8 6.7 14.4										
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れる／波が穏やか)	自分自身	180	82.2 5.6 7.2 5.0										
	同居の大人(中学生以上)	160	83.1 5.6 6.3 5.0										
	同居の子供(小学生以下)	84	85.7 7.1 7.1										
シュノーケリング	自分自身	424	83.3 4.5 5.9 6.4										
	同居の大人(中学生以上)	350	82.3 6.6 6.6 4.6										
	同居の子供(小学生以下)	116	82.8 6.9 9.5 0.9										

図8 レジャー活動別の着用したライフジャケットの種類 (続き) Q3~11\_2

#### 4 ライフジャケット着用時の有用性に関する経験

問 「着用した」と答えた方に) レジャー活動中、ライフジャケットの着用には効果がある、着用していたことで助かったと感じた経験はありましたか。

ライフジャケットの着用には効果がある、着用していたことで助かったと感じた経験の有無について図9に、レジャー活動の種類別にみた経験の有無を図10に示す。なお、全体のN数は、各レジャー活動におけるライフジャケット着用の有無で、「ライフジャケットを持参し着用」、「無償で借りたライフジャケットを着用」及び「有償で借りたライフジャケットを着用」を選択した回答者数の合計(2,458)とした。さらに、自由記述で得られた具体的な経験内容を集計し(有効件数の合計172件)、その代表的な回答を表1に示す。

ライフジャケットの着用には効果がある、着用していたことで助かったと感じた経験が「自身であった」と回答した割合は全体の10.5%で、「同居者」や「同居者以外」に関する経験を含めた場合の割合は18.1%となった。また、レジャー活動の種類別では、「自身であった」との回答した割合が「ボート遊び(水の流れがある/波が比較的ある)」で17.7%と最も多く、次いで「釣り(ボートから)」が13.0%であった。

具体的な経験内容を見ると、海や河川に落水したときにライフジャケットを着用していたことで助かった、または着用していることで安心感がある等の経験が確認された。

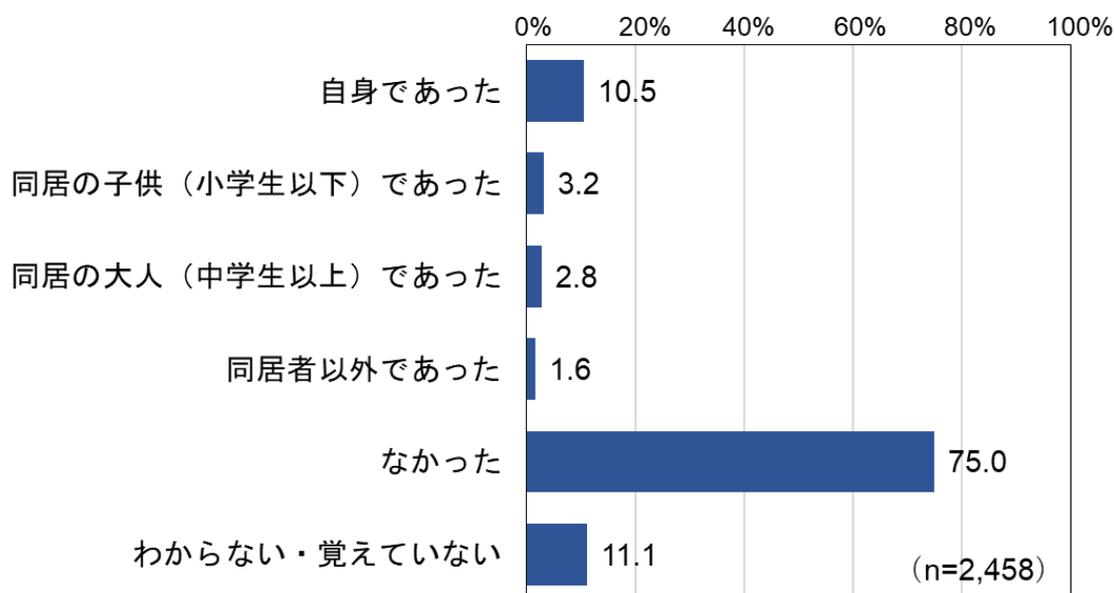


図9 ライフジャケット着用時の有用性に関する経験の有無(複数回答) Q3~11\_3

[%]

レジャー活動	n数	自身であった	同居の大人 (中学生以上) であった	同居の子供 (小学生以下) であった	同居者以外 であった	なかった	わからない・ 覚えていない
ボート遊び (水の流れがある／波が比較的ある)	362	17.7	4.1	3.0	1.7	68.2	10.8
ボート遊び (水の流れがあまりない／波が穏やか)	429	10.3	2.3	2.3	0.9	76.2	11.0
釣り (陸上から)	339	9.1	2.7	3.8	2.1	75.5	10.9
釣り (水に入った状態)	120	10.8	3.3	4.2	3.3	70.0	11.7
釣り (ボートから)	185	13.0	2.7	2.2	1.6	76.8	8.1
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	115	7.8	5.2	4.3	2.6	76.5	11.3
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある／波が比較的ある)	272	9.9	3.7	4.8	2.6	75.7	8.8
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない／波が穏やか)	202	6.4	2.0	3.5	1.0	78.7	11.9
シュノーケリング	434	7.4	1.6	2.3	0.7	77.2	13.8

図 10 レジャー活動別のライフジャケット着用時の有用性に関する経験の有無 Q3~11\_3

表1 ライフジャケット着用時の有用性に関する経験（詳細）Q3~11\_3

役立った経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
ボート遊び（水の流れる／波が比較ある） 自分自身	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 河で流れていったが、ライフジャケットが浮き輪となり、岸にしがみついで助かった。</li> <li>• 流木に当たってバランスを崩し落水した時、浮いて救助を待てた。</li> <li>• 川の流れるがぶつかって水中で渦を巻いている場所があり、引きずりこまれそうな所で浮いていられた。</li> <li>• SUP で何度も転落したが溺れずに済んだ。SUP をスタートした場所は浅瀬で足が届いたので問題ないと考えていたが、転落した場所は深さが数 m 以上あり、足が届かなかったため焦った。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他艇とクラッシュして落水した時、浮いて救助を待てた。</li> <li>• 足を滑らせた時助かった。</li> <li>• 海に落ちたが浮いていて慌てずに SUP に戻ることが出来た。</li> <li>• 海に落ちたが、浮いて呼吸ができる姿勢を保てたので助かった。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボートがひっくり返って、泳ぎがまだ上手にできなかったのが助かった。</li> <li>• 不注意に立ち上がってバランスを崩し落水した時、浮いて救助を待てた。</li> <li>• 流れが強い時に助かった。</li> <li>• 深い水深のところの飛び込んだときに浮力があるため本人が安心して体験できた。</li> </ul>
同居者以外	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 落水時に復帰できた。</li> </ul>
ボート遊び（水の流れる／波が穏やか） 自分自身	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バランスを崩しヒヤッとしたが、ライフジャケット着用していて良かった。</li> <li>• 水に落ちて焦ったがジャケットを着用していたので安心感があり冷静さを保てた。</li> <li>• 流れが速くて体勢が不安定になったが、ジャケットによって仰向けになれた。</li> <li>• 川に落ちたが、勝手に浮くので安心感があった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水に落ちたが、浮いた事で、救助が直ぐにされ問題なかった。</li> <li>• 落ちたとき助かった。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水に落ちた時に明らかに身長的に足が届かずパニックになっていたがライフジャケットを着ていたため浮いた、パニックも落ち着き無事助けることができた。</li> <li>• カヌーから落ちたが、ライフジャケットを着用していたため溺れずに済んだ。</li> </ul>
同居者以外	1	

表1 ライフジャケット着用時の有用性に関する経験（詳細）（続き）Q3~11\_3

役立った経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
<b>釣り（陸上から）</b>		
自分自身	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 落ちそうになったが安心して釣りができた。</li> <li>• 滑って海に落ちたがライフジャケット着用で事なく済んだ。</li> <li>• テトラポットを移動中に隙間に落ちてしまったがライフジャケット着用のおかげで身体に怪我はなく、海にも浮いていたので冷静に陸に上がることが出来た。</li> <li>• 風にあおられて落ちたが、浮いたので助かった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水に落ちたが、浮いていたので直ぐに救助され、問題なかった。</li> <li>• 川に落ち、ライフジャケットのお陰で、沈むことなくすぐ救助された。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	1	
同居者以外	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• その子の親が目を離した時に1人で浮くことができていた。</li> </ul>
<b>釣り（水に入った状態）</b>		
自分自身	1	
同居の大人（中学生以上）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エイに刺されて倒れたが、ライジャケのお陰で溺れる等の第二被害を防げた。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 膝下くらいの水につかり釣りをしていた時、滑って5メートル位流されたが、ライフジャケットのお陰で助かった。</li> <li>• 足を取られて着水したときに流されそうになったが流されなかった。</li> </ul>
同居者以外	0	
<b>釣り（ボートから）</b>		
自分自身	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バランスを崩してボートから落ちたが浮いて呼吸ができて助かった。</li> <li>• 浮くのが楽だった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	1	
同居者以外	0	
<b>魚とり（釣り竿は持たずに網などで魚を捕る）</b>		
自分自身	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 川岸の岩が滑りやすかったが、すべって水の中に入ってしまったときに安心感があつた。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 足を滑らせて水に流されてしまったが、流れも遅くライフジャケットをつけていたので、溺れることもなく無事だった。</li> </ul>
同居者以外	1	

表1 ライフジャケット着用時の有用性に関する経験（詳細）（続き）Q3~11\_3

役立った経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れるがある／波が比較ある) 自分自身	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>波さらわれ沖に流されたような時助かった。</li> <li>水中で渦が巻いている場所で、引きずりこまれずに済んだ。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>水を飲んで呼吸できなくなったが、浮いていたので、すぐに引き上げられた。</li> <li>波にのみこまれたが、ライフジャケットのおかげで底まで行かずに済んだ。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>深いところまで行ってしまったがライフジャケットを着用していたため大丈夫だった。</li> </ul>
同居者以外	1	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れるがあまりない／波が穏やか) 自分自身	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>足元がふらついた時に助かった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちが楽</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>不注意で沖合に流された時、浮いて救助を待てた。</li> </ul>
同居者以外	0	
シュノーケリング 自分自身	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて海でシュノーケリングして、いつの間にか、流されていたので、ライフジャケットを着ていて良かったと思った。</li> <li>ボートで沖まで行き、シュノーケリングするツアーだったため、足がつかなくて波があり、ライフジャケットなしだと、首から上は海に浸からずという姿勢を保てなかった。</li> <li>流れが速い場所でも慌てずに落ち着いて泳ぐことが出来た。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>余裕が持てた。</li> <li>波が高く、子供は泳げないためライフジャケットがあることによって安心して楽しむことができた。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>足がつかない場所に行ってしまう、ライフジャケットがあったことで、自分で浮くことができて助かった。</li> <li>泳ぐのがまだ不安定なので、何もせず浮くことで、とても安心感があった。</li> </ul>
同居者以外	1	

## 5 ライフジャケット着用時の不具合発生の経験

問 「着用した」と答えた方に）レジャー活動中、ライフジャケットを着用した際に、不具合が生じた経験はありますか。

ライフジャケットを着用した際に、不具合が生じた経験の有無について図 11 に、レジャー活動の種類別にみた経験の有無を図 12 に示す。なお、全体の N 数は、各レジャー活動におけるライフジャケット着用の有無で、「ライフジャケットを持参し着用」、「無償で借りたライフジャケットを着用」及び「有償で借りたライフジャケットを着用」を選択した回答者数の合計（2,458）とした。さらに、自由記述で得られた具体的な経験内容を集計し（有効件数の合計 123 件）、その代表的な回答を表 2 に示す。

ライフジャケットを着用した際に、不具合が生じた経験が「自身であった」と回答した割合は全体の 7.0%で、「同居者」や「同居者以外」に関する経験を含めた場合の割合は 11.4%となった。また、レジャー活動の種類別では、「自身であった」との回答した割合が「釣り（水に入った状態）」で 10.0%と最も多く、次いで「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」及び「釣り（ボートから）」が 8.6%であった。

具体的な経験内容をみると、サイズが合わない、脱げそうになった、壊れた等の経験が確認された。

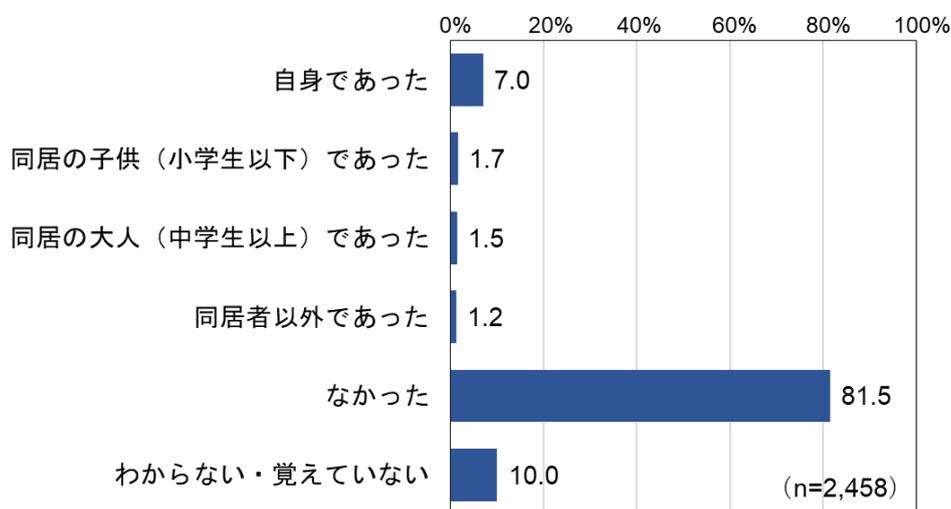


図 11 ライフジャケット着用時の不具合発生の経験の有無（複数回答） Q3~11\_4

[%]

レジャー活動	n数	自身であった	同居の大人 (中学生以上) であった	同居の子供 (小学生以下) であった	同居者以外 であった	なかった	わからない・ 覚えていない
ボート遊び (水の流れがある／波が比較的ある)	362	8.6	0.8	1.4	0.8	81.2	9.1
ボート遊び (水の流れがあまりない／波が穏やか)	429	5.6	1.6	1.6	0.5	83.7	9.3
釣り (陸上から)	339	8.3	2.1	2.1	1.8	79.9	10.0
釣り (水に入った状態)	120	10.0	0.8	3.3	4.2	75.8	10.8
釣り (ボートから)	185	8.6	2.7	1.6	1.6	78.9	9.7
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	115	7.8	3.5	2.6	1.7	76.5	13.0
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある／波が比較的ある)	272	7.7	2.2	1.8	1.5	82.0	8.8
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない／波が穏やか)	202	5.0	1.0	1.5	1.0	83.7	9.9
シュノーケリング	434	4.6	0.7	1.4	0.5	83.4	11.1

図 12 レジャー活動別のライフジャケット着用時の不具合発生の経験の有無 Q3~11\_4

表2 ライフジャケット着用時の不具合発生の経験（詳細） Q3~11\_4

不具合が生じた経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
<b>ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）</b>		
自分自身	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取れそうになった。</li> <li>• うまく浮かばなかった。</li> <li>• 夏の暑さで熱中症になりかけた。</li> <li>• 紐の締め付けが甘く脱げそうになった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サイズが大きいのので脱げそうになった。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サイズが合わなかった。</li> <li>• 痛かった。</li> </ul>
同居者以外	1	
<b>ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）</b>		
自分自身	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 浮力が小さかった。</li> <li>• 小さくてお腹のファスナーが完全に閉まらなかった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 壊れた。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サイズが合わない。</li> <li>• 脱げそうになった。</li> </ul>
同居者以外	1	
<b>釣り（陸上から）</b>		
自分自身	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゆるく絞めていたので、隙間ができて身体が半分沈んでしまった。</li> <li>• 紐が切れた</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暑かったので前を適切に止めておらず、ライフジャケットだけ浮かんでしまった。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上半身が重くなるため身動きが取りにくい。</li> </ul>
同居者以外	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライフジャケットがごわついて、思い通りに力が入らなかった。</li> </ul>
<b>釣り（水に入った状態）</b>		
自分自身	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 浮くだけで岸まで泳げない状態になる。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供だけで着脱できなかった。</li> </ul>
同居者以外	1	

表2 ライフジャケット着用時の不具合発生の経験（詳細）（続き）Q3~11\_4

不具合が生じた経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
<b>釣り（ボートから）</b>		
自分自身	7	• 紐が切れた。
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	1	
同居者以外	2	• 安全性がない。
<b>魚とり（釣り竿は持たずに網などで魚を捕る）</b>		
自分自身	3	• 脱げそうになった。
同居の大人（中学生以上）	3	• 紐を緩めた際、締めなおすことを忘れて着用したため意味が無かった。
同居の子供（小学生以下）	2	• 脱げた。
同居者以外	1	
<b>水辺活動・水遊び・遊泳 （水の流れがある／波が比較的ある）</b>		
自分自身	11	• 紐の締め方が甘かったので、脱げそうになった。 • サイズが大きくて身体に密着感が少なく身体が沈んだ。
同居の大人（中学生以上）	4	• ライフジャケットの締め忘れで脱げてしまった。
同居の子供（小学生以下）	3	• 絡まった。
同居者以外	2	• ライフジャケットの締めすぎで、呼吸困難になった。
<b>水辺活動・水遊び・遊泳 （水の流れがあまりない／波が穏やか）</b>		
自分自身	3	• 取れた。
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	2	• サイズが合わない。
同居者以外	1	
<b>シュノーケリング</b>		
自分自身	6	• ライフジャケットが脱げた。
同居の大人（中学生以上）	3	• サイズが合ってなくて、動きが妨げられ、転びそうになった。
同居の子供（小学生以下）	3	• 絡まった。
同居者以外	1	

## 6 ライフジャケット非着用の理由

問 「着用しなかった」と答えた方に) レジャー活動中、ライフジャケットを着用しなかった理由は何ですか。【あなた自身／同居の大人（中学生以上）／同居の子供（小学生以下）】

ライフジャケットを着用しなかった理由について図 13 に示す。なお、全体の N 数は、各レジャー活動におけるライフジャケット着用の有無で、「ライフジャケットは着用せず、浮き具（浮き輪等）を使用」及び「ライフジャケットを着用せず、浮き具（浮き輪等）も使用しなかった」を選択した回答者数（「あなた自身」、「同居の大人（中学生以上）」、「同居の子供（小学生以下）」の回答をすべて含む）の合計（3,203）とした。

ライフジャケットを着用しなかった理由としては、「水深が浅く溺れる危険性がないから」が 34.6%と最も多く、次いで「水中に転落したり、水に流されたりする危険性が少ないから」が 21.8%、「ライフジャケットをもっていなかった、その場になかったから」が 20.1%と続いた。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「自分の泳力に自信がある」「ライフセーバーがいるから」「着用すると潜れないため」等が確認された。

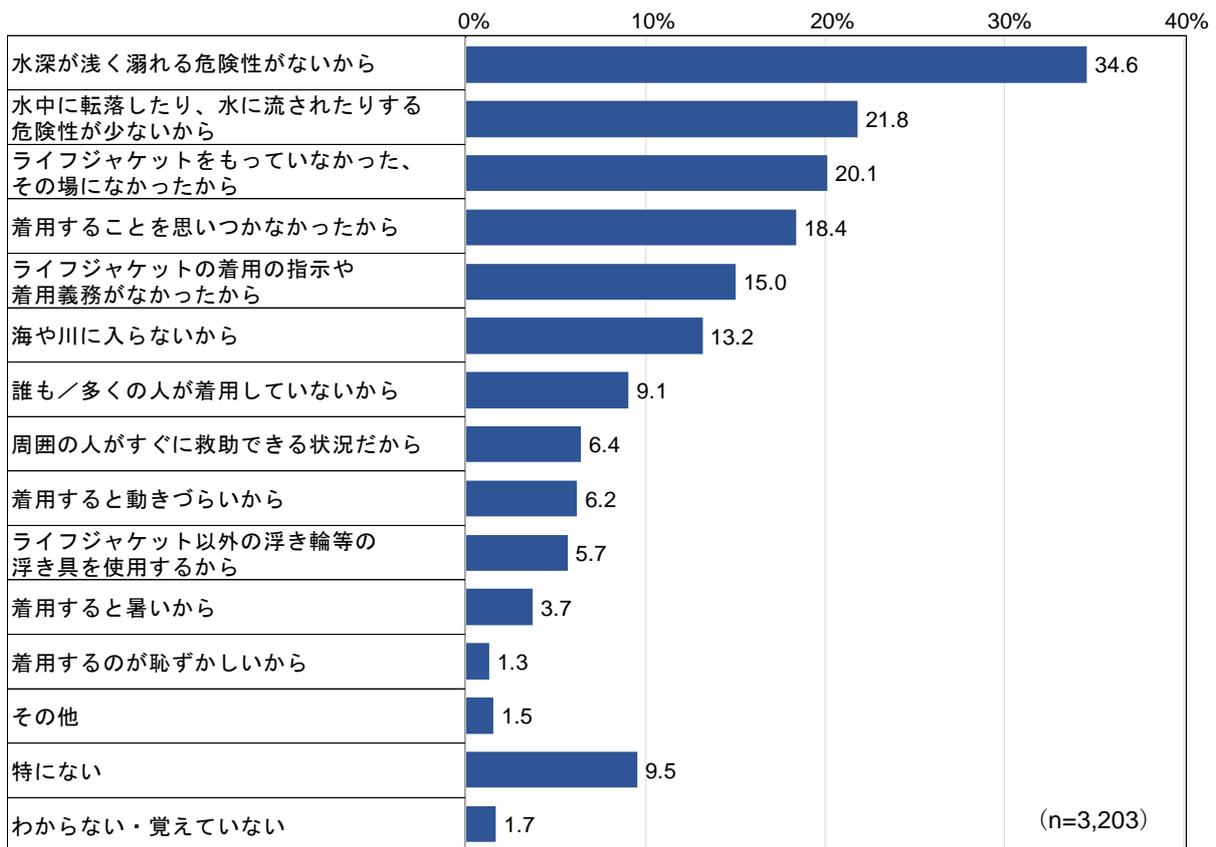


図 13 ライフジャケット非着用の理由（複数回答） Q3~11\_5

## 7 ライフジャケット非着用時の危害・危険経験

問 「着用しなかった」と答えた方に) レジャー活動中、ライフジャケットを着用しなかったことで、「溺れた経験」や「溺れそうになった経験」など、危険な経験をしたことがありましたか。【あなた自身／同居の大人（中学生以上）／同居の子供（小学生以下）】

ライフジャケットを着用しなかったことで生じた危険な経験の有無について図 14 に、レジャー活動の種類別にみた経験の有無を図 15 に示す。なお、全体の N 数は、各レジャー活動におけるライフジャケット着用の有無で、「ライフジャケットは着用せず、浮き具（浮き輪等）を使用」及び「ライフジャケットを着用せず、浮き具（浮き輪等）も使用しなかった」を選択した回答者数（「あなた自身」、「同居の大人（中学生以上）」、「同居の子供（小学生以下）」の回答をすべて含む）の合計（3,203）とした。さらに、自由記述で得られた具体的な経験内容を集計し（有効件数の合計 45 件）、その代表的な回答を表 3 に示す。

全体でみると、危険な経験について「なかった」と回答した割合が 93.6%を占めた一方で、「溺れた経験があった」「溺れそうになった経験があった」「溺れる以外の危険な経験があった」という回答が合わせて 2.2%確認された。レジャー活動の種類別では、「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」及び「釣り（ボートから）」において、「危険な経験があった」と回答した割合が比較的高い傾向を示した。また、大人と比較すると、子供において「危険な経験があった」と回答した割合が目立った。

具体的な経験内容をみると、溺れかけた、転落しかけた、波にさらわれた等の経験が確認された。

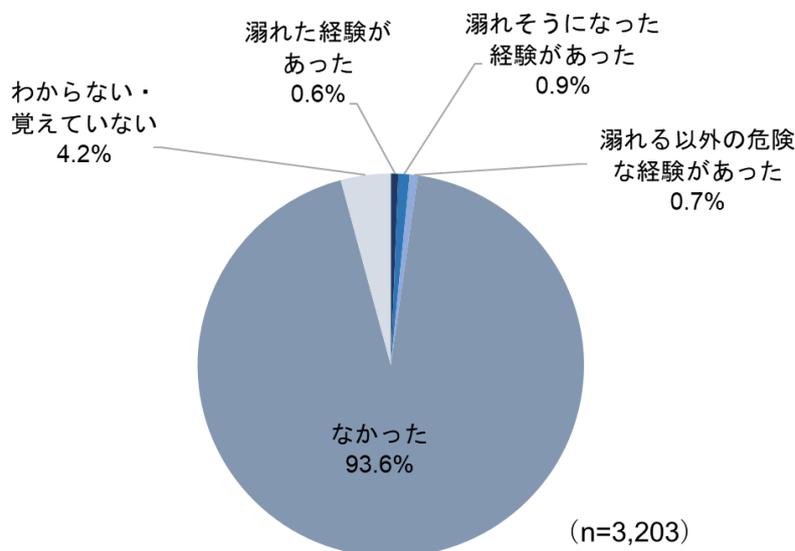


図 14 ライフジャケット非着用時の危害・危険経験の有無（単一回答） Q3~11\_6

[%]

レジャー活動	対象	n数	濡れた経験があった	濡れそうになった経験があった	濡れる以外の危険な経験があった	なかった	わからない・覚えていない
ボート遊び (水の流れがある／波が比較的ある)	自分自身	39	2.6	0.0	0.0	76.9	20.5
	同居の大人 (中学生以上)	35	2.9	2.9	2.9	65.7	25.7
	同居の子供 (小学生以下)	12	8.3	8.3	0.0	66.7	16.7
ボート遊び (水の流れがあまりない／波が穏やか)	自分自身	129	0.0	0.8	0.8	95.3	3.1
	同居の大人 (中学生以上)	110	0.0	0.0	0.9	96.4	2.7
	同居の子供 (小学生以下)	31	3.2	3.2	0.0	80.6	12.9
釣り (陸上から)	自分自身	426	0.5	0.2	0.7	95.5	3.1
	同居の大人 (中学生以上)	304	0.0	0.3	0.3	95.4	3.9
	同居の子供 (小学生以下)	44	4.5	0.0	2.3	84.1	9.1
釣り (水に入った状態)	自分自身	38	0.0	0.0	0.0	97.4	2.6
	同居の大人 (中学生以上)	28	0.0	0.0	0.0	89.3	10.7
	同居の子供 (小学生以下)	10	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
釣り (ボートから)	自分自身	40	2.5	0.0	0.0	95.0	2.5
	同居の大人 (中学生以上)	33	0.0	0.0	0.0	93.9	6.1
	同居の子供 (小学生以下)	6	0.0	16.7	0.0	66.7	16.7

図 15 レジャー活動別のライフジャケット非着用時の危害・危険経験の有無 Q3~11\_6

[%]

レジャー活動	対象	n数	溺れた経験 があった	溺れそうになった 経験があった	溺れる以外の危険 な経験があった	なかった	わからない・ 覚えていない
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	自分自身	154	1.3	0.0	1.9	92.2	4.5
	同居の大人 (中学生以上)	130	0.8	0.0	0.0	91.5	7.7
	同居の子供 (小学生以下)	35	0.0	0.0	0.0	94.3	5.7
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある／波が比較的ある)	自分自身	233	1.3	2.6	2.1	91.8	2.1
	同居の大人 (中学生以上)	187	0.0	0.5	0.5	93.6	5.3
	同居の子供 (小学生以下)	45	0.0	0.0	0.0	95.6	4.4
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない／波が穏やか)	自分自身	375	0.3	2.4	1.3	93.9	2.1
	同居の大人 (中学生以上)	299	0.0	0.0	0.0	96.0	4.0
	同居の子供 (小学生以下)	80	2.5	0.0	0.0	93.8	3.8
シュノーケリング	自分自身	201	0.5	2.0	0.0	96.0	1.5
	同居の大人 (中学生以上)	156	0.6	1.9	0.0	94.2	3.2
	同居の子供 (小学生以下)	23	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

図 15 レジャー活動別のライフジャケット非着用時の危害・危険経験の有無（続き） Q3~11\_6

表3 ライフジャケット非着用時の危害・危険経験（詳細）Q3~11\_6

危害・危険経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
<b>ボート遊び（水の流れる／波が比較的ある）</b>		
自分自身	1	
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	0	
<b>ボート遊び（水の流れていない／波が穏やか）</b>		
自分自身	2	・ 足がつかないところで溺れかけた。
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	0	
<b>釣り（陸上から）</b>		
自分自身	4	・ 転落しかけた。
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	1	
<b>釣り（水に入った状態）</b>		
自分自身	0	
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	0	
<b>釣り（ボートから）</b>		
自分自身	0	
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	1	
<b>魚とり（釣り竿は持たずに網などで魚を捕る）</b>		
自分自身	5	・ 浅いのに波に巻かれ上下がわからなくなった。 ・ ミズゴケに足を取られてこけた。
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	0	

表3 ライフジャケット非着用時の危害・危険経験（詳細）（続き）Q3~11\_6

危害・危険経験	件数	具体的な記載内容（抜粋）
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れるがある/波が比較ある) 自分自身	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>川で泳ぎながら遊んでいて、急な深場があり、足がつかず焦ってその場でバタバタしてしまった。</li> <li>足がつってしまい危なかった。</li> <li>子供が流されかけて助けに行った時に溺れかけた。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	1	
同居の子供（小学生以下）	0	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れるがあまりない/波が穏やか) 自分自身	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>海で浮き輪に入って遊泳中、気づいたら結構流されていてライフセーバーの方の笛で持ち直せた。</li> <li>海で波にさらわれた。母親がすぐに気づいて助かった。</li> <li>高台から川に飛び込んだ時に思いの外深くて溺れそうになった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	0	
同居の子供（小学生以下）	0	
シュノーケリング 自分自身	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>シュノーケルで口呼吸が上手くできず水を飲んでしまった。</li> </ul>
同居の大人（中学生以上）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>離岸流に流されてしまい、ボードも無くして溺れて、知らない方に助けられた。</li> </ul>
同居の子供（小学生以下）	0	

## 8 ライフジャケットの所有状況

### (1) ライフジャケットの所有状況

問 現在ライフジャケットを持っていますか。【大人用／子供用※】

ライフジャケットの所有状況について図 16（大人用）及び図 17（子供用）に示す。現在、ライフジャケットを「持っている」と回答した割合は、大人用が 19.6%、子供用が 37.8%であり、子供用の所有率が大人用よりも高い傾向を示した。

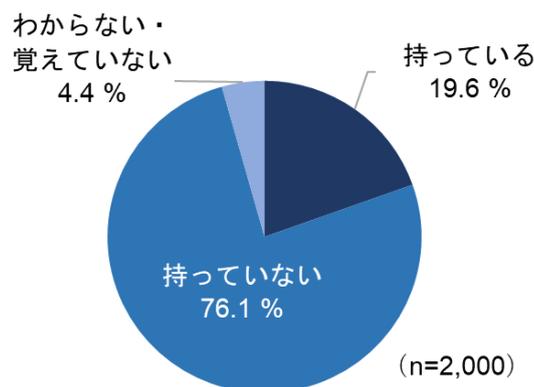


図 16 ライフジャケットの所有状況（単一回答）（大人用） Q12

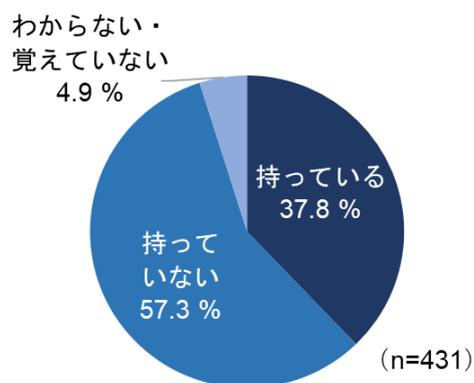


図 17 ライフジャケットの所有状況（単一回答）（子供用） Q12

※「子供用」に関する選択肢については、あらかじめ実施した予備調査において、レジャー活動経験のある小学生以下の子供の有無を質問し、「小学生以下の子供と同居している」と回答した者を対象に、アンケート調査を実施した。（以下同様）

レジャー活動の種類別にみた所有状況を図 18 に示す。なお、N 数は、本アンケート調査の対象となるレジャー活動経験の有無で、1 つのレジャー活動のみを選択した回答者\*を対象とした。

レジャー活動別にみると、大人用では「釣り（ボートから）」が 50.0%と最も多く、次いで「釣り（水に入った状態）」が 46.7%、「釣り（陸上から）」が 22.5%であり、釣り関係のレジャー活動でライフジャケットの所有率が高い傾向となった。一方、「水辺活動・水遊び・遊泳（水の流れがあまりない／波が穏やか）」では 5.6%、「ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）」では 8.4%と、全体の所有率である 19.6%（図 16）を大きく下回っていた。また、ほとんどのレジャー活動において、子供用の所有率が大人用と比較して高い結果となった。

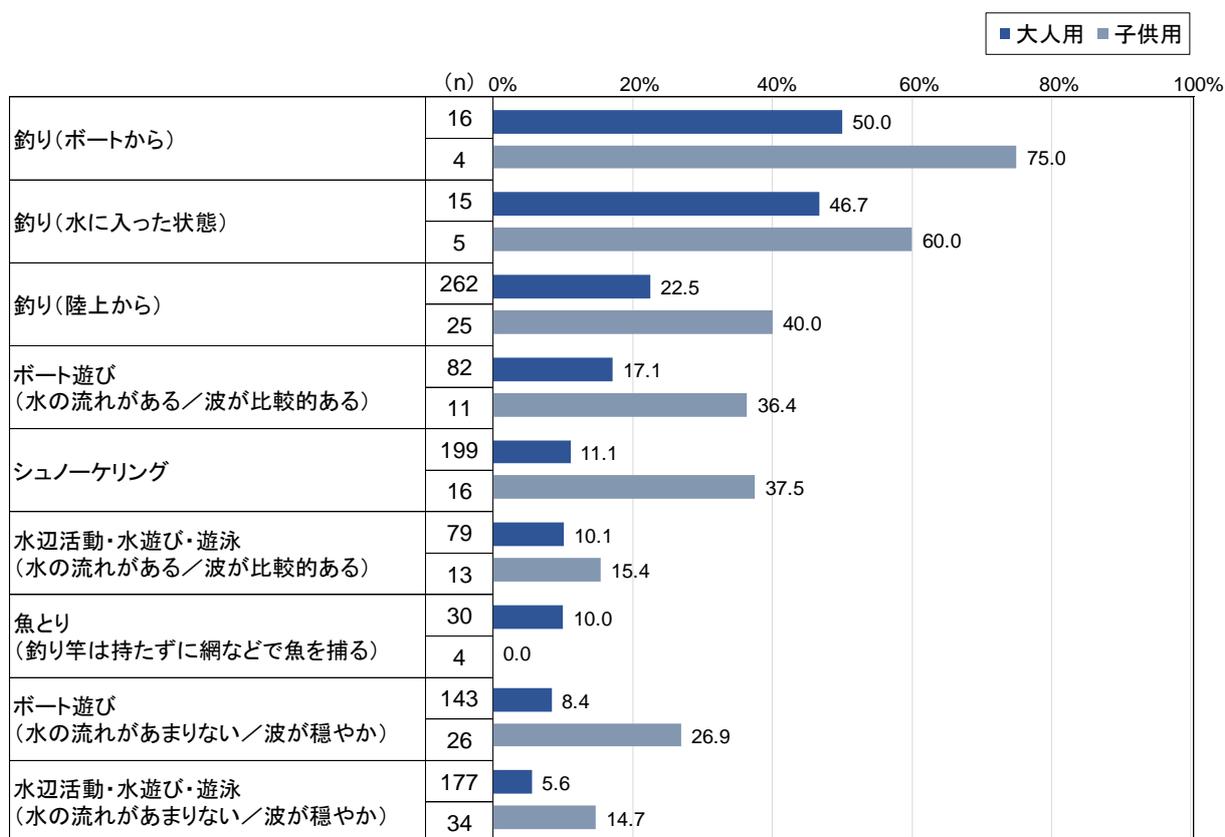


図 18 レジャー活動別のライフジャケットの所有状況 SC4×Q12

\* 釣り船（遊漁船）やプレジャーボート（小型船舶に該当）に乗船するなどの目的でライフジャケットを所持している人を含む可能性がある。また、子供用については対象者数（n 数）が少ないため、参考程度とする。

## (2) ライフジャケットの使用用途

問 「持っている」と答えた方に) ライフジャケットはどんな使用用途で手に入れましたか。【大人用／子供用\*】

ライフジャケットの使用用途について図 19 に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数の合計（大人用が 391、子供用が 163）とした。

ライフジャケットの使用用途として、大人用では「釣り（陸上から）」が 39.6%と最も多く、次いで「ボート遊び（水の流れがある／波が比較的ある）」が 38.4%であった。また、子供用では「ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）」が 39.9%と最も多く、次いで「ボート遊び（水の流れがあまりない／波が穏やか）」が 33.1%となった。また、「水辺活動・水遊び・遊泳（水の流れがある／波が比較的ある）」では、子供用が大人用と比べて 10%以上高い結果となった。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「磯釣り」、「沢登り」、「防災用」等が確認された。

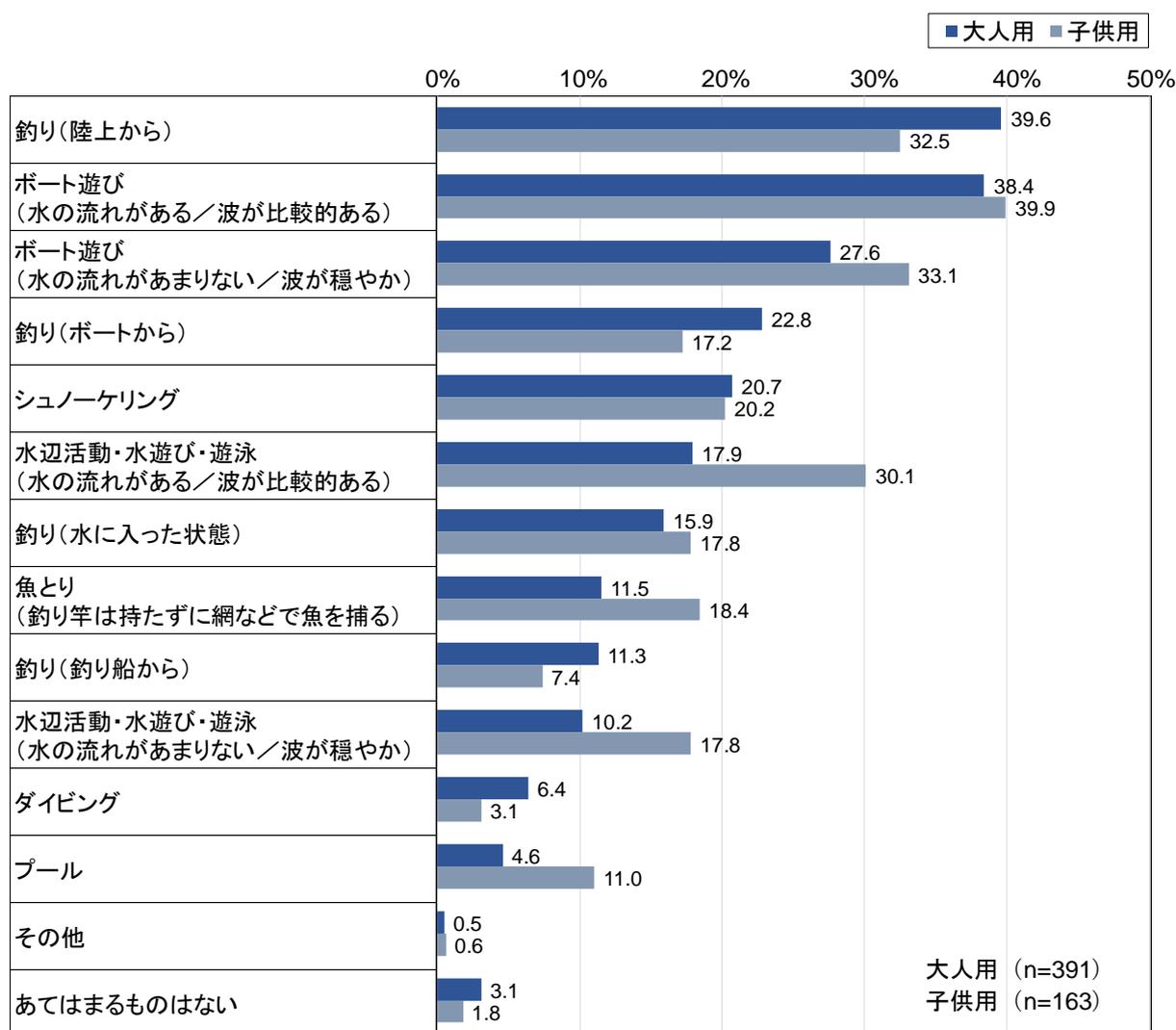


図 19 ライフジャケットの使用用途（複数回答） Q13

### (3) ライフジャケットのマーク等の有無

問 「持っている」と答えた方に) お持ちのライフジャケットに、安全性に関する規格等への適合を示すマークや表記はありますか。【大人用/子供用】

ライフジャケットの安全性に関するマークや表記の有無について図 20 に、レジャー活動の種類別のマークや表記等の有無を図 21 (大人用) 及び図 22 (子供用) に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数の合計 (大人用が 391、子供用が 163) とした。

安全性に関する規格等への適合を示すマークや表記として、大人用では「桜マーク」が 23.5% と最も多く、次いで「CS マーク」が 16.9% であった。また、子供用では「CS マーク」が 23.9% と最も多く、次いで「桜マーク」が 22.1% であり、いずれも「桜マーク」と「CS マーク」が占める割合が高い結果となった。

レジャー活動別では、大人用・子供用ともに「マークあり」の回答が全体の 7 割から 8 割を占めた。大人用では、「ボート遊び(水の流れるある/波が比較ある)」の「桜マーク」が 37.3%、子供用では「CS マーク」が 35.4% と最も高い割合を示した。

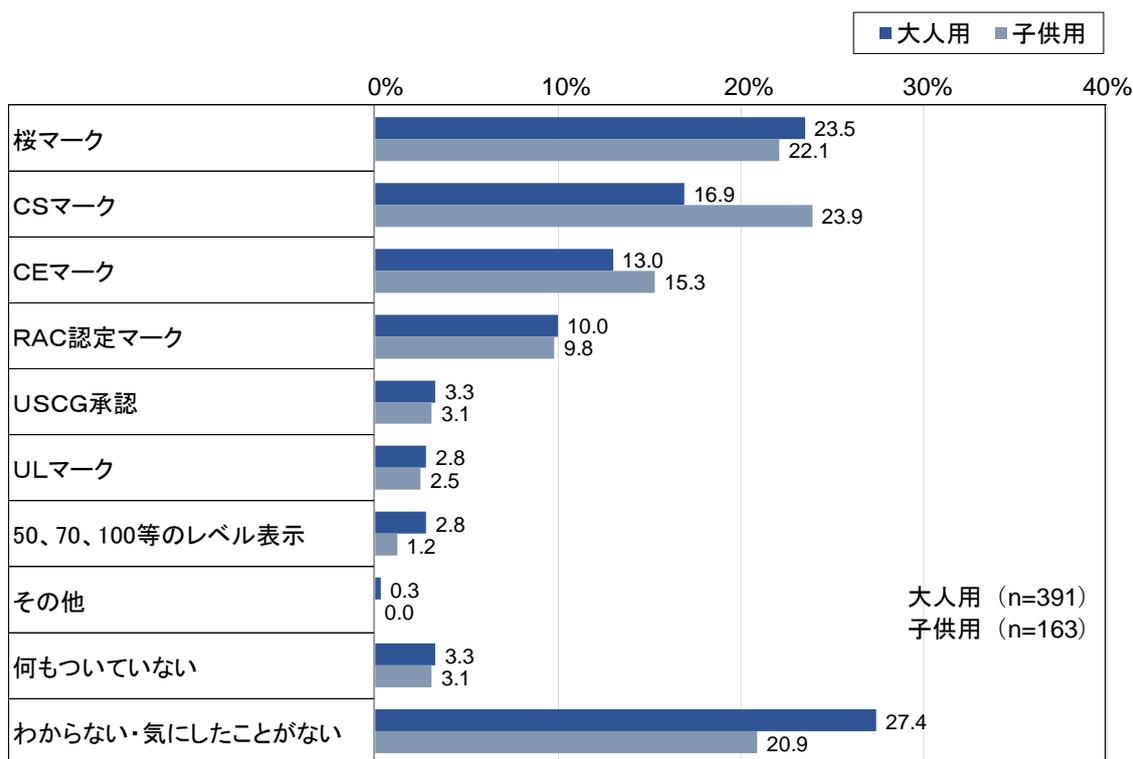


図 20 ライフジャケットのマーク等の有無 (複数回答) Q14

レジャー活動	(n)	桜マーク	CSマーク	CEマーク	RAC認定マーク	USCG承認	ULマーク	50、70、100等のレベル表示	その他	何もついていない	わからない・気にしたことがない	[%]
ボート遊び (水の流れがある／波が比較的ある)	150	37.3	20.7	13.3	10.7	3.3	4.7	3.3	0.0	2.7	11.3	
ボート遊び (水の流れがあまりない／波が穏やか)	108	25.9	17.6	16.7	16.7	1.9	3.7	1.9	0.0	2.8	17.6	
釣り (陸上から)	155	27.7	16.8	14.2	9.7	5.2	3.2	5.2	0.0	2.6	21.3	
釣り (水に入った状態)	62	25.8	16.1	19.4	11.3	4.8	6.5	4.8	1.6	3.2	14.5	
釣り (ボートから)	89	22.5	11.2	15.7	11.2	5.6	5.6	4.5	0.0	2.2	29.2	
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	45	24.4	22.2	22.2	8.9	4.4	11.1	2.2	0.0	4.4	8.9	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある／波が比較的ある)	70	25.7	15.7	24.3	8.6	4.3	5.7	2.9	0.0	2.9	18.6	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない／波が穏やか)	40	25.0	17.5	15.0	10.0	2.5	5.0	5.0	0.0	2.5	22.5	
シュノーケリング	81	17.3	13.6	14.8	12.3	2.5	4.9	1.2	0.0	4.9	33.3	

図 21 レジャー活動別のライフジャケットのマーク等の有無 (大人用) Q13×Q14\_1

レジャー活動	(n)	桜マーク	CSマーク	CEマーク	RAC認定マーク	USCG承認	ULマーク	50、70、100等のレベル表示	その他	何もついていない	わからない・気にからない	[%]
ボート遊び (水の流れがある／波が比較的ある)	65	24.6	35.4	12.3	10.8	1.5	3.1	1.5	0.0	3.1	10.8	
ボート遊び (水の流れがあまりない／波が穏やか)	54	25.9	24.1	24.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	11.1	
釣り (陸上から)	53	17.0	22.6	22.6	9.4	5.7	3.8	1.9	0.0	1.9	18.9	
釣り (水に入った状態)	29	20.7	17.2	27.6	6.9	3.4	3.4	3.4	0.0	3.4	17.2	
釣り (ボートから)	28	17.9	25.0	21.4	14.3	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	
魚とり (釣り竿は持たずに網などで魚を捕る)	30	20.0	20.0	23.3	6.7	3.3	3.3	3.3	0.0	6.7	16.7	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがある／波が比較的ある)	49	18.4	24.5	20.4	4.1	2.0	2.0	2.0	0.0	6.1	22.4	
水辺活動・水遊び・遊泳 (水の流れがあまりない／波が穏やか)	29	13.8	20.7	10.3	6.9	3.4	3.4	6.9	0.0	6.9	31.0	
シュノーケリング	33	9.1	30.3	21.2	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	30.3	

図 22 レジャー活動別のライフジャケットのマーク等の有無 (子供用) Q13×Q14\_2

#### (4) ライフジャケットを持たない理由

問 「持っていない」と答えた方に) ライフジャケットを持たない理由は何ですか。【大人用/子供用】

ライフジャケットを持たない理由について図 23 に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っていない」を選択した回答者数の合計（大人用が 1,522、子供用が 247）とした。

ライフジャケットを持たない理由として、「使用頻度が少ないから」が大人用 34.1%、子供 30.0%と「レンタルすればよいと考えるから」が大人用 31.7%、子供 34.4%と、大人用・子供用ともに高い結果となった。その他、大人用では「海や川に入らないから」と回答した割合が 16.2%であり、子供用より約 10%高く、他の理由と比較して大人用と子供用の差が目立った。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「ライフジャケットを考えたことがなかった」、「同行者に借りる」、「老朽化で捨てた」、「今はもうレジャー活動をしていない」等が確認された。

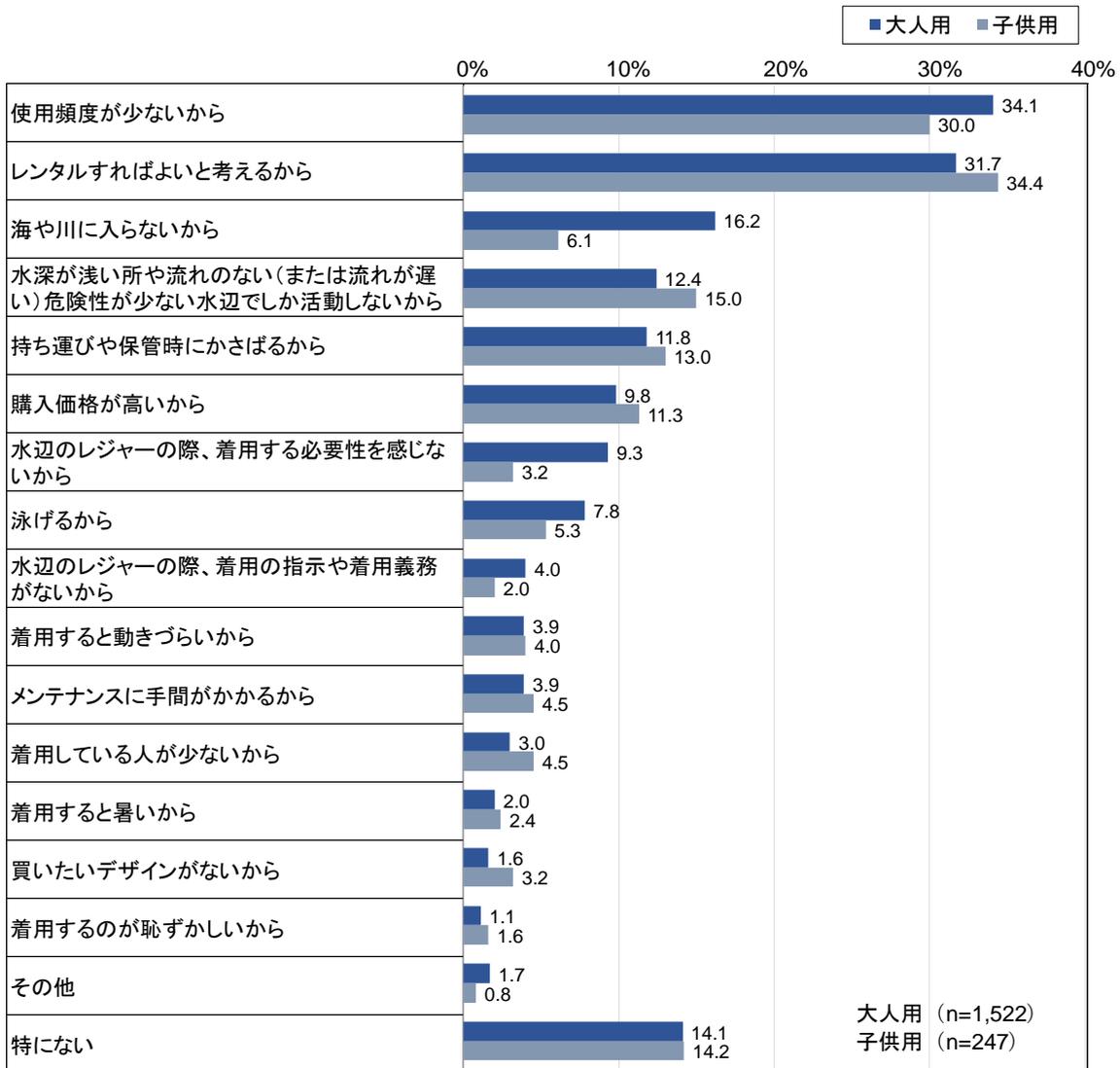


図 23 ライフジャケットを持たない理由（複数回答） Q18

## 9 ライフジャケットの使用状況

### (1) ライフジャケットの使用頻度

問 「持っている」と答えた方に) ライフジャケットの使用頻度はどの位ですか。【大人用／子供用】

ライフジャケットの使用頻度について図 24 (大人用) 及び図 25 (子供用) に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数の合計 (大人用が 391、子供用が 163) とした。

ライフジャケットの使用頻度は、大人用・子供用ともに、「数ヶ月に 1 回以上」と回答した割合が最も多く、全体の 3 割以上を占めた。一方、「年に 1 回未満」と回答した割合は、大人用が 20.2%で、子供用より 10%以上高い結果となった。

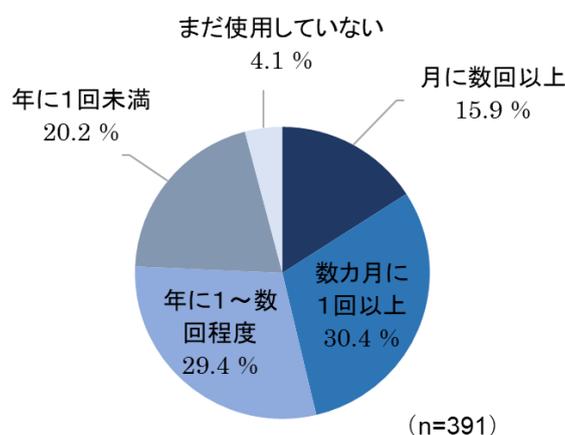


図 24 ライフジャケットの使用頻度 (単一回答) (大人用) Q15\_1

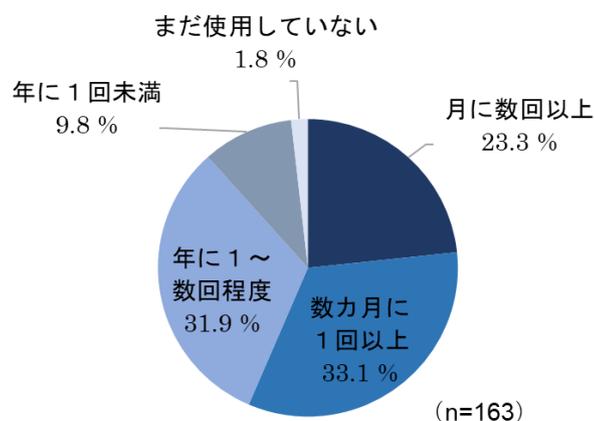


図 25 ライフジャケットの使用頻度 (単一回答) (子供用) Q15\_2

## (2) ライフジャケットの持参状況

問 「持っている」と答えた方に) 水辺でレジャー活動を行う際のライフジャケットの使用状況について1つお選びください。【大人用/子供用】

レジャー活動時のライフジャケットの持参状況について図 26 に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数の合計（大人用が 391、子供用が 163）とした。

ライフジャケットの持参状況は、大人用・子供用ともに、「常に持っていき、着用している」と回答した割合が最も多く、全体の約半数を占めた。

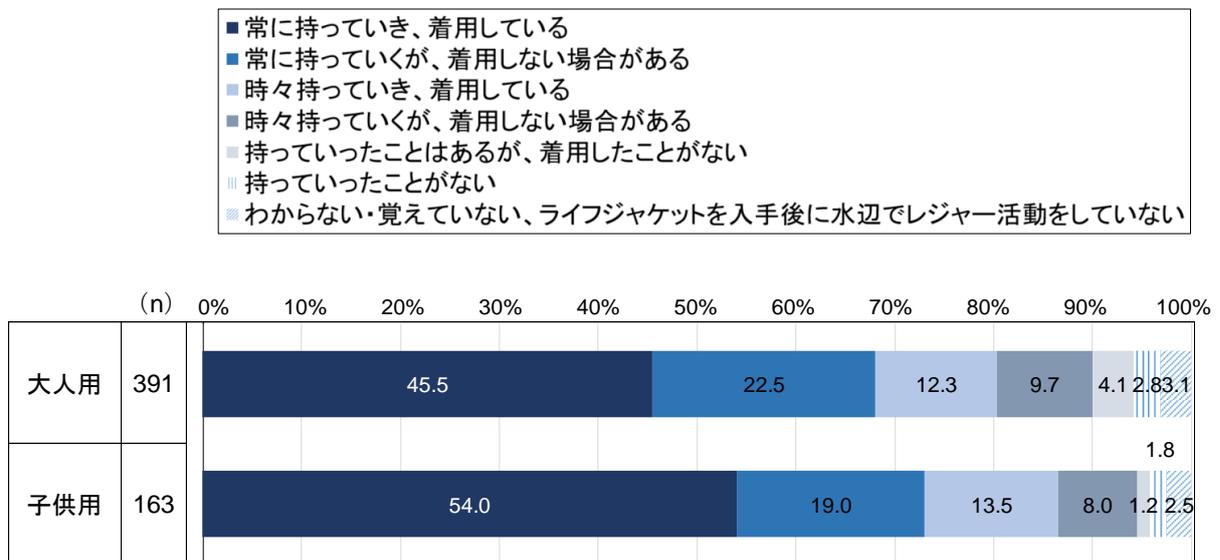


図 26 ライフジャケットの持参状況（単一回答）Q16

### (3) ライフジャケットの購入・入手動機

問 「持っている」と答えた方に) ライフジャケットを購入・入手した動機は何ですか。  
【大人用／子供用】

ライフジャケットを購入・入手した動機について図 27 に示す。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数の合計（大人用が 391、子供用が 163）とした。

ライフジャケットを購入・入手した動機としては、大人用・子供用ともに「水に落ちる、流された際に溺れないため」と「水難事故に関するニュースを見聞きしたから」と回答した割合が高かった。特に、子供用で「水難事故に関するニュースを見聞きしたから」と回答した割合は 36.2%であり、大人用より 10%程度高い結果となった。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「過去に実際に流された経験があるから」、「レンタルすると高いから」、「家族や知人からもらった」等が確認された。

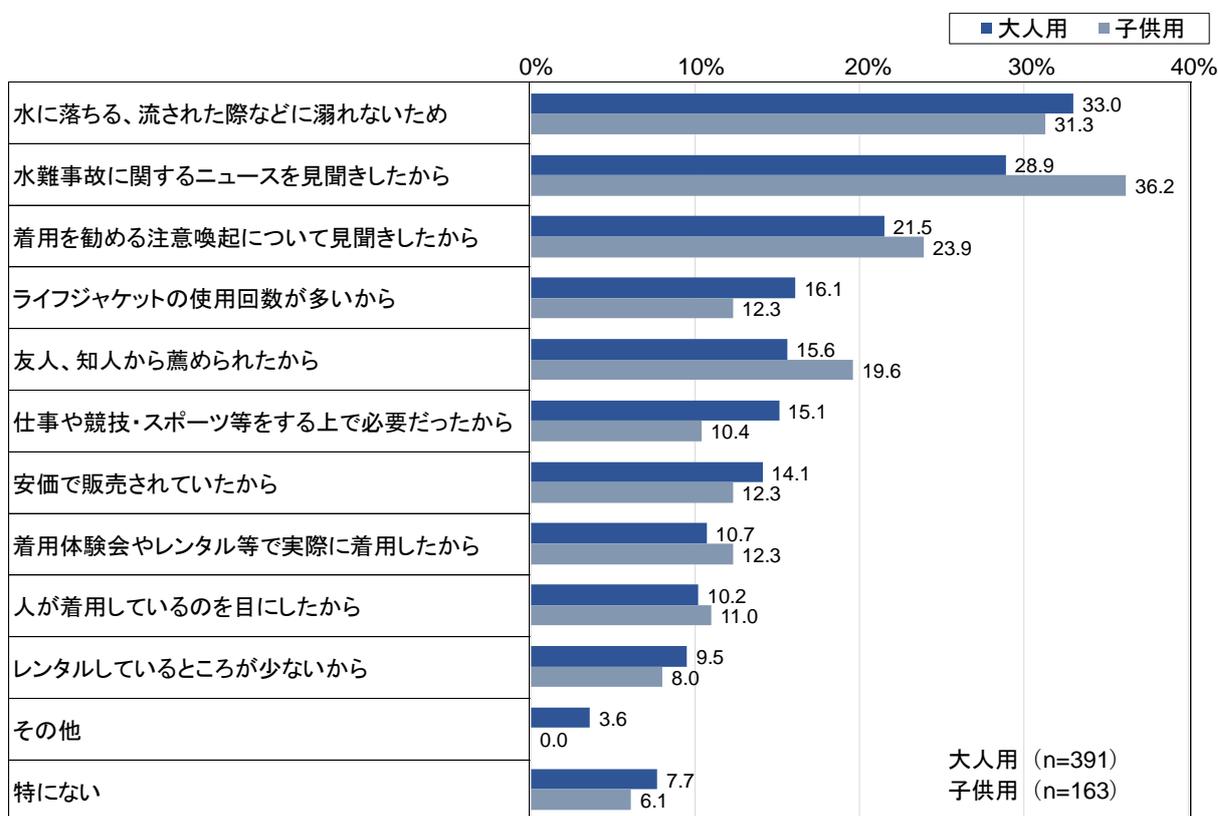


図 27 ライフジャケットの購入・入手動機（単一回答） Q17

## 10 ライフジャケットの購入実態

### (1) ライフジャケットの種類

問 あなたが持っているライフジャケットの種類を1つお選びください。お持ちでない方は、もしライフジャケットを入手するとしたら、どのタイプを購入・入手したいか1つお選びください。

回答者全員を対象に、所有しているライフジャケットの種類、及び持っていない場合は購入・入手したいライフジャケットの種類を尋ねた（図28）。なお、全体のN数は、ライフジャケットの所有状況で「持っている」を選択した回答者を「所持（大人用が391、子供用が163）」、「持っていない」や「わからない・覚えていない」を選択した回答者を「非所持（大人用が1,609、子供用が268）」とした。

所持しているライフジャケットの種類としては、大人用・子供用ともに「固型式」が最も多く、全体の6割以上を占めた。また、非所持者においても、「固型式」と回答した割合が最も多いが、「わからない・特にない」が全体の半数近くを占めた。

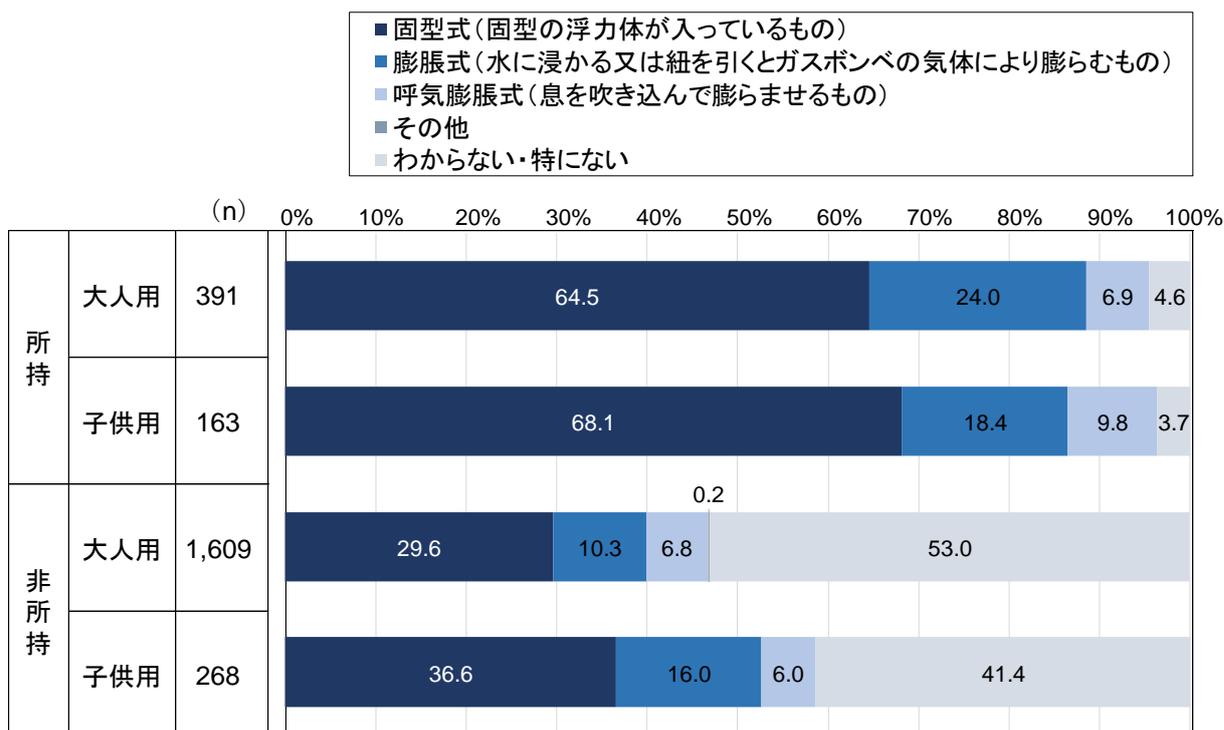


図28 ライフジャケットの種類（単一回答）Q19

## (2) ライフジャケットの購入の決め手

問 あなたが持っているライフジャケットを購入する際に重視したことを最大3つまでお選びください。お持ちでない方は、今後、ライフジャケットを購入・入手するとしたら、何が選択の決め手になるかお選びください。

回答者全員を対象に、所有しているライフジャケットを購入する際に重視した点、及び持っていない場合は購入・入手する際の決め手について尋ねた（図 29）。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で「持っている」を選択した回答者を「所持（大人用が 391、子供用が 163）」、「持っていない」や「わからない・覚えていない」を選択した回答者を「非所持（大人用が 1,609、子供用が 268）」とした。

ライフジャケットの所持者においては、購入する際に重視した点として、大人用では「価格」が 28.6%と最も多く、子供用では「安全性が担保されているか」が 29.4%で最も多い結果となった。これは、非所持者でも同様の結果であった。特に、「安全性」については、所持者・非所持者・大人用・子供用問わず、全体的に高い傾向を示した。また、所持者の子供用では、大人用と比較して「サイズ」と回答した割合が目立った。「その他」を選択した自由記述の回答としては、所持者で「店員の勧め」、非所持者で「生存率」等が確認された。

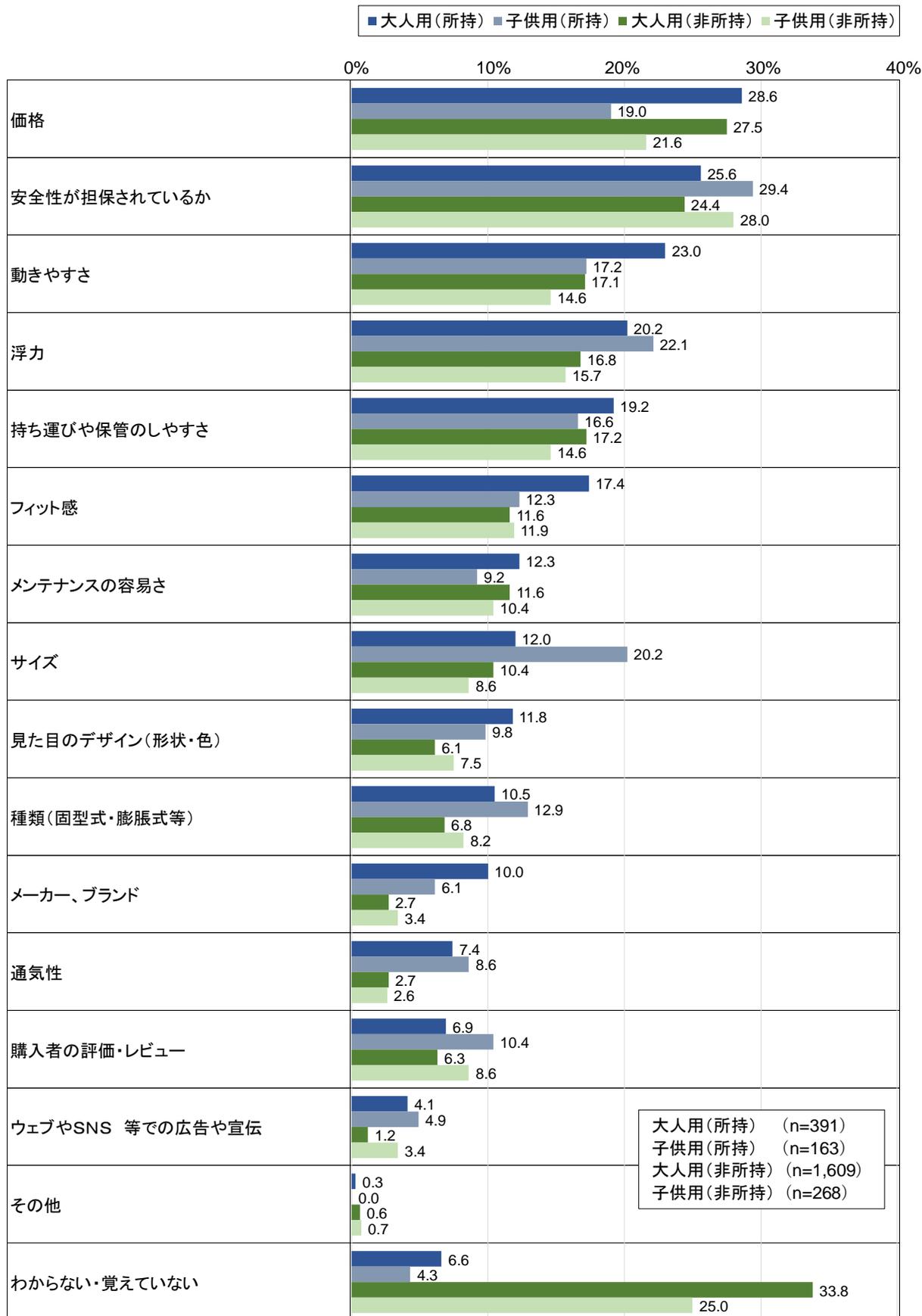


図 29 ライフジャケットの購入の決め手（複数回答）Q20

### (3) ライフジャケットの購入金額

問 あなたが持っているライフジャケットの購入価格をお選びください。お持ちでない方は、今後ライフジャケットを入手するとした時の購入希望金額をお選びください。

回答者全員を対象に、所有しているライフジャケットの購入金額、及び持っていない場合は入手する際の購入希望金額について尋ねた（図 30）。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で「持っている」を選択した回答者を「所持（大人用が 391、子供用が 163）」、「持っていない」や「わからない・覚えていない」を選択した回答者を「非所持（大人用が 1,609、子供用が 268）」とした。

ライフジャケットの所持者の購入金額としては、大人用・子供用ともに「4,000 円～7,000 円未満」と回答した割合が最も多く、全体の 2 割以上を占めた。一方、非所持者においては、「2,000 円～4,000 円未満」と回答した割合が多い結果となった。

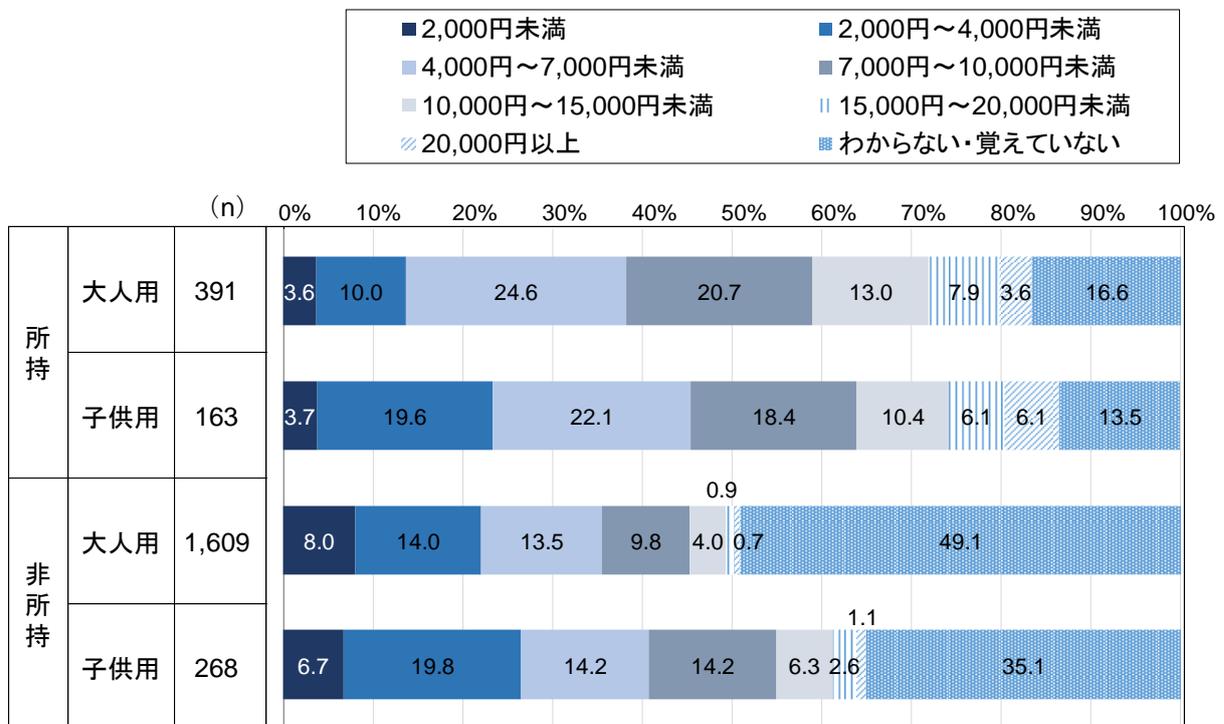


図 30 ライフジャケットの購入金額<sup>2</sup>（単一回答） Q21

<sup>2</sup> 安全性に関する規格等への適合を示すマークや表記等があるものとないものが混在している。

#### (4) ライフジャケットの購入場所

問 あなたが持っているライフジャケットの購入店舗等を1つお選びください。お持ちでない方は、今後ライフジャケットを入手することを考えた時に、購入を検討する店舗等をお選びください。

回答者全員を対象に、所有しているライフジャケットの購入場所、及び持っていない場合は入手する際の購入希望場所について尋ねた（図 31）。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で「持っている」を選択した回答者を「所持（大人用が 391、子供用が 163）」、「持っていない」や「わからない・覚えていない」を選択した回答者を「非所持（大人用が 1,609、子供用が 268）」とした。

ライフジャケットの所持者の購入場所としては、大人用・子供用ともに「スポーツ用品店」と回答した割合が最も多い結果となった。これは、非所持者でも同様の結果であった。また、所持者の大人用で「釣具店」と回答した割合が目立った。

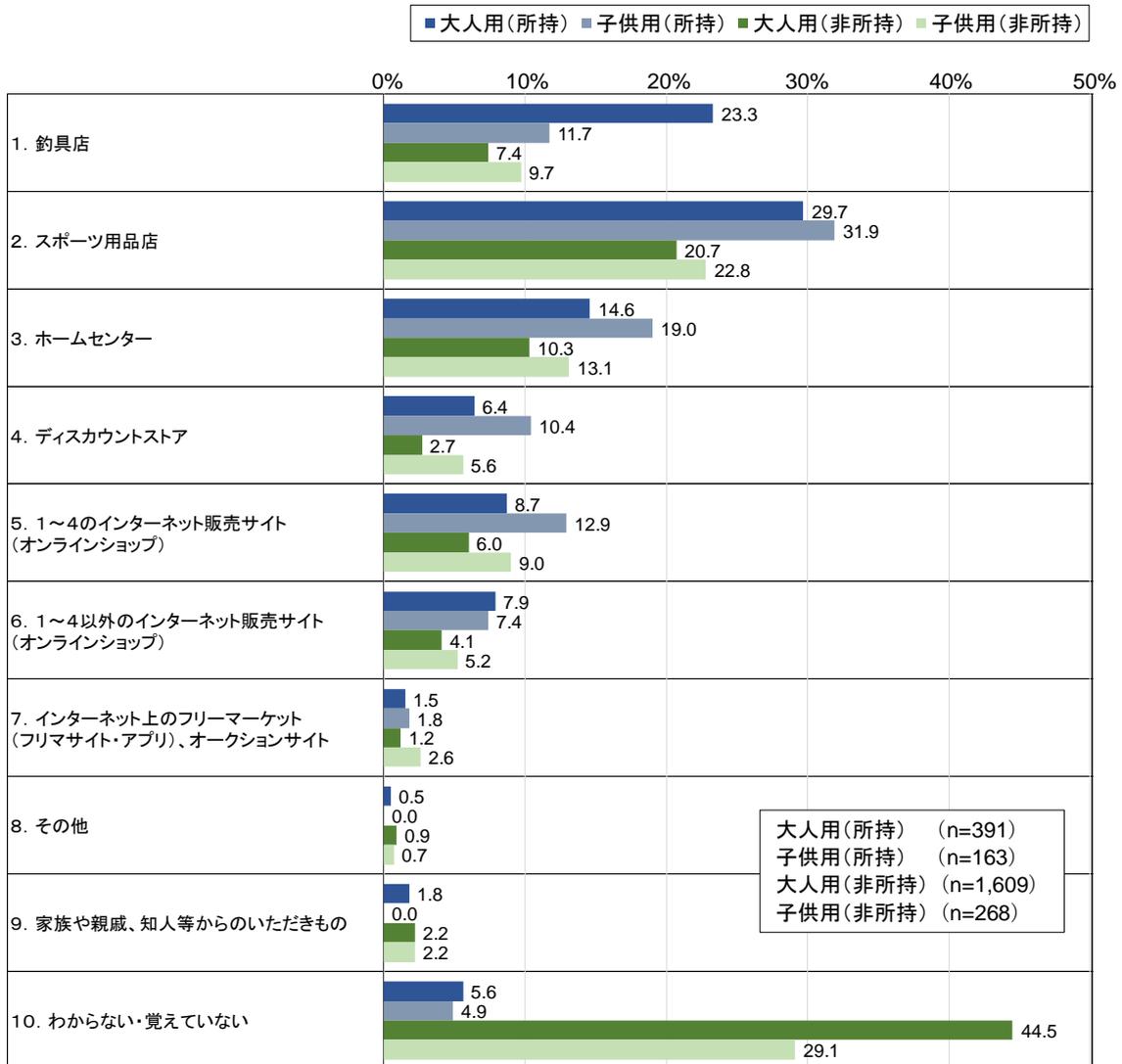


図 31 ライフジャケットの購入場所（単一回答） Q12×Q22

## 1.1 ライフジャケットの使用方法に関する認知状況等

### (1) ライフジャケット本体・取扱説明書の使用上の注意について

問 「持っている」と答えた方に) ライフジャケットの本体に記載されている注意事項や取扱説明書を使用前に読みましたか。【ライフジャケット本体の注意事項／取扱説明書】

ライフジャケットを所有していると回答した者を対象に、ライフジャケットの本体や取扱説明書に記載されている使用上の注意を読んだか尋ねた (図 32 及び図 33)。なお、全体の N 数は、ライフジャケットの所有状況で、「持っている」を選択した回答者数 (大人用及び子供用を含む) の合計 (428) とした。

ライフジャケットの本体に記載されている注意事項 (図 31) 及び取扱説明書 (図 32) とともに同様の傾向がみられ、「全部読んだ」が全体の 4 割、「一部読んだ」が 3 割を占めた。一方で、「読んでない」と回答した割合は約 14%であった。

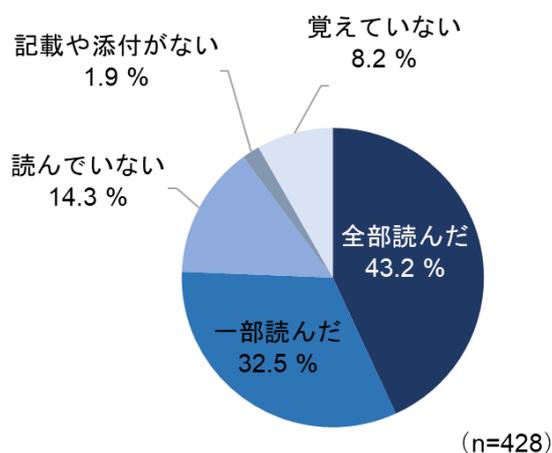


図 32 ライフジャケット本体の注意事項 (単一回答) Q23\_1

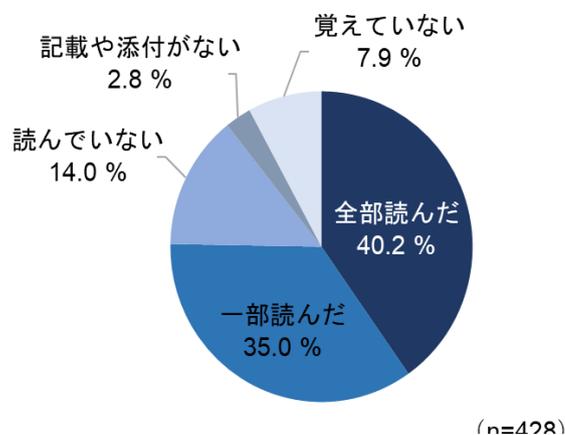


図 33 取扱説明書 (単一回答) Q23\_2

## (2) ライフジャケットの使用前確認

問 「持っている」と答えた方に) ライフジャケットを使用する際、以下の点について確認していますか。

【1. ベルト、ファスナー、バックルなどが切れたり壊れたりしていないか／2. 生地部分の破れやほつれがないか／3. 着用時に体にフィットしているか／4. (固型式のみ) 股ベルトをつけているか／5. (固型式のみ) 浮力材がずれるなどして偏っていないか／6. (膨脹式のみ) 部品の使用期限が切れていないか／7. (膨脹式のみ) ガスポンベの取付けや手動レバーの位置などが正しい状態か】

ライフジャケットの使用前確認の有無を図 34 に、項目(上記 1～7)別の使用前確認の状況を図 35 に示す。なお、全体の N 数は、項目別の回答数の合計(2,636)とした。

全体で見ると、「毎回、確認している」が 45.4%で最も多く、次いで「時々、確認している」が 35.5%、「確認していない」が 17.9%となった。

項目別では、子供用のライフジャケットで使用前確認を「毎回、確認している」と回答した割合が高い傾向を示した。一方、固型式と比較して、膨脹式の項目で「毎回、確認している」と回答した割合は約 10%低い傾向が確認された。

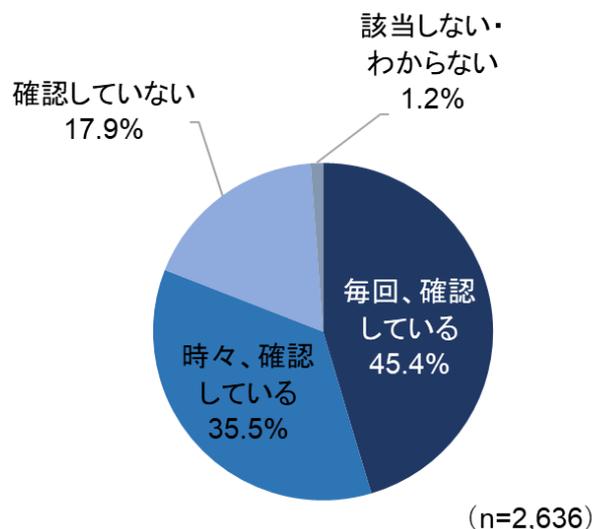


図 34 ライフジャケットの使用前確認の状況(単一回答) Q24

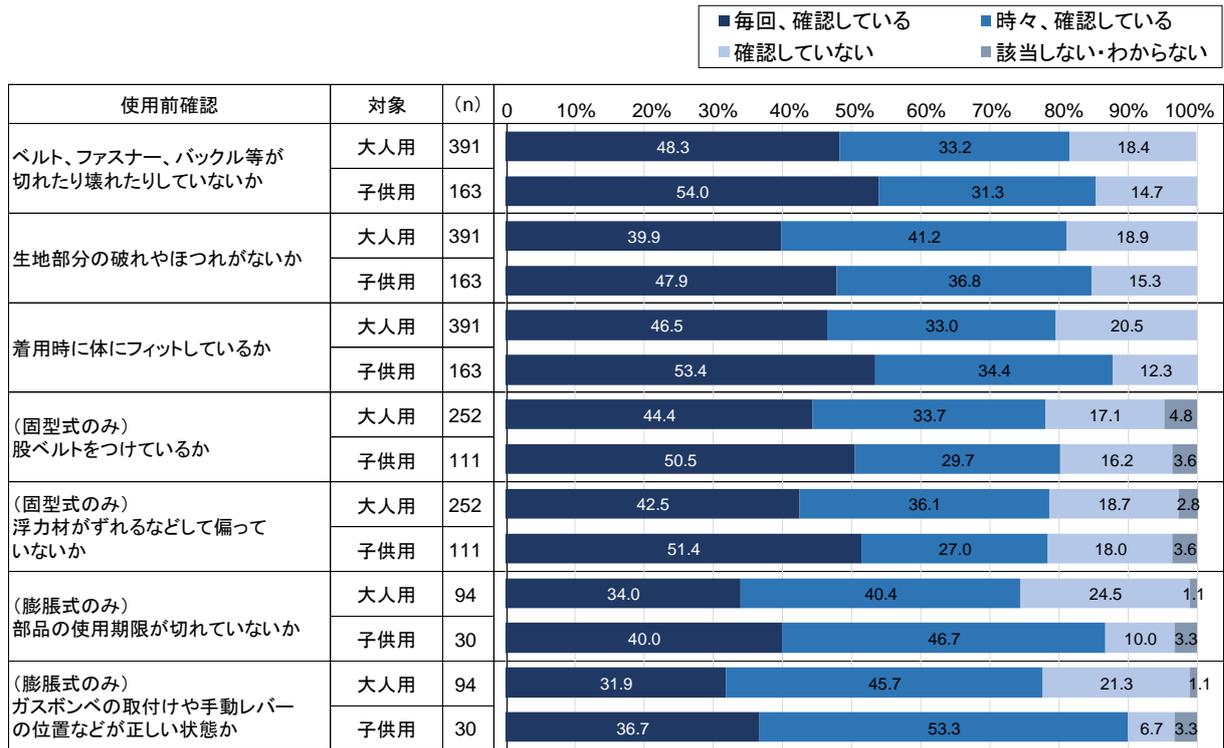


図 35 項目別のライフジャケットの使用前確認の状況 Q12×Q24

## 1.2 ライフジャケットに関する知識の認知状況

問 ライフジャケットに関する次の内容について、知っているものを全てお選びください。

ライフジャケットに関する知識の認知度について図 36 に、ライフジャケット所持者の認知度を図 36 に示す。なお、全体の N 数は回答者数 (2,000) とした。

ライフジャケットに関する知識については、項目や回答者に関わらず認知度は 40%以下であった。「水の事故は、子供だけでなく、大人でも多く起きていること」が 37.5%で最も多く、次いで「着用時は非着用時と比べて、水の事故時の生存率が上がること」が 32.6%、「ライフジャケットのサイズが大きかったりベルトの締め付けが緩いと、水中で脱げてしまう場合があること」が 26.8%となった。

所持者の認知度をみると、全体的に非所持者に比べて所持者の認知度が上回っていた。特に上位 3 つの項目や「水の事故での死者・行方不明者の割合は高いこと (全国で約 5 割、2019～2023 年の 5 年間)」の項目を除いて、所持者と非所持者の認知度に約 15%の差が確認された。また、所持者においても「固型式ライフジャケットの上に重いものを載せると、潰れて浮力が低下する恐れがあること」をはじめ、製品の使用方法等について認知度は低い傾向であった。

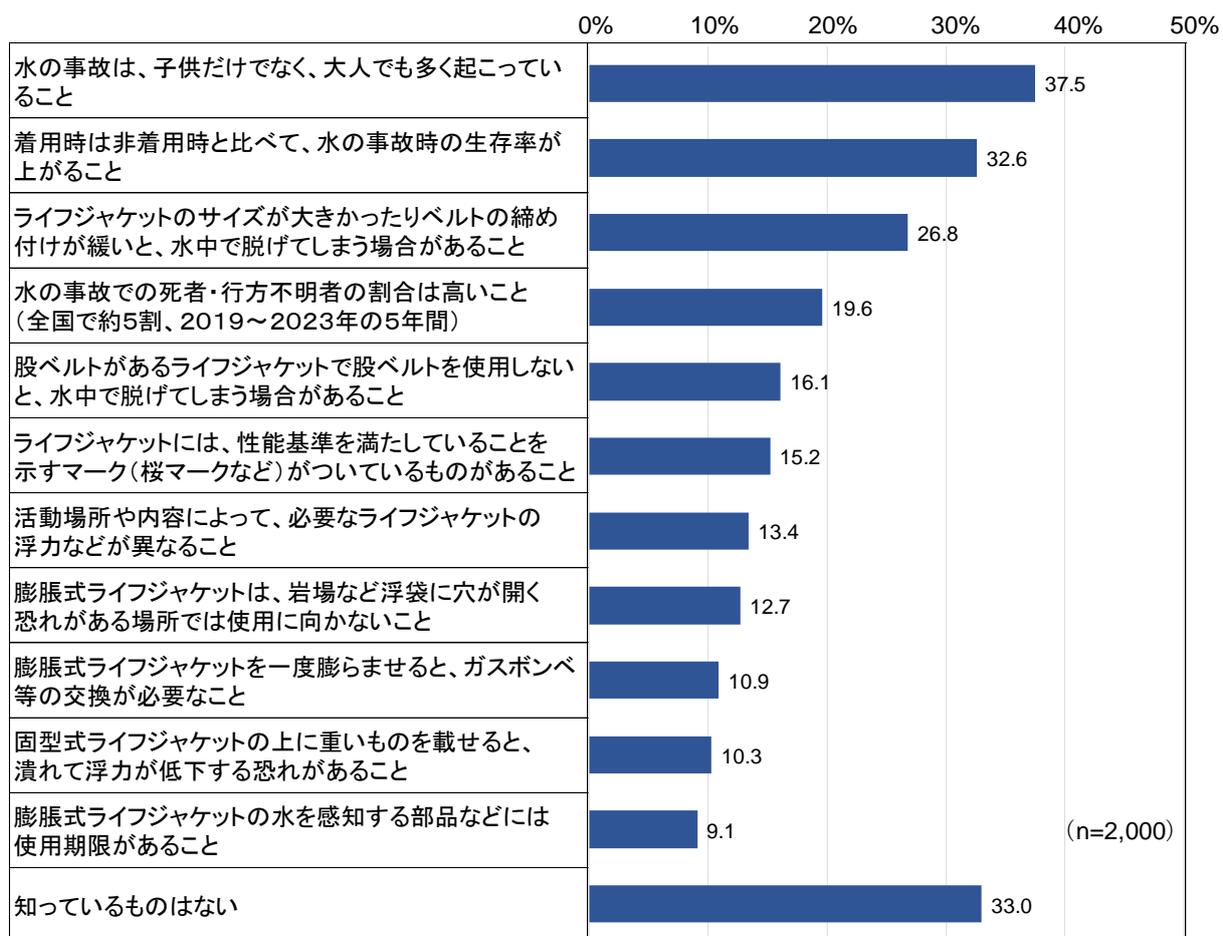


図 36 ライフジャケットに関する知識の認知度 (複数回答) Q25

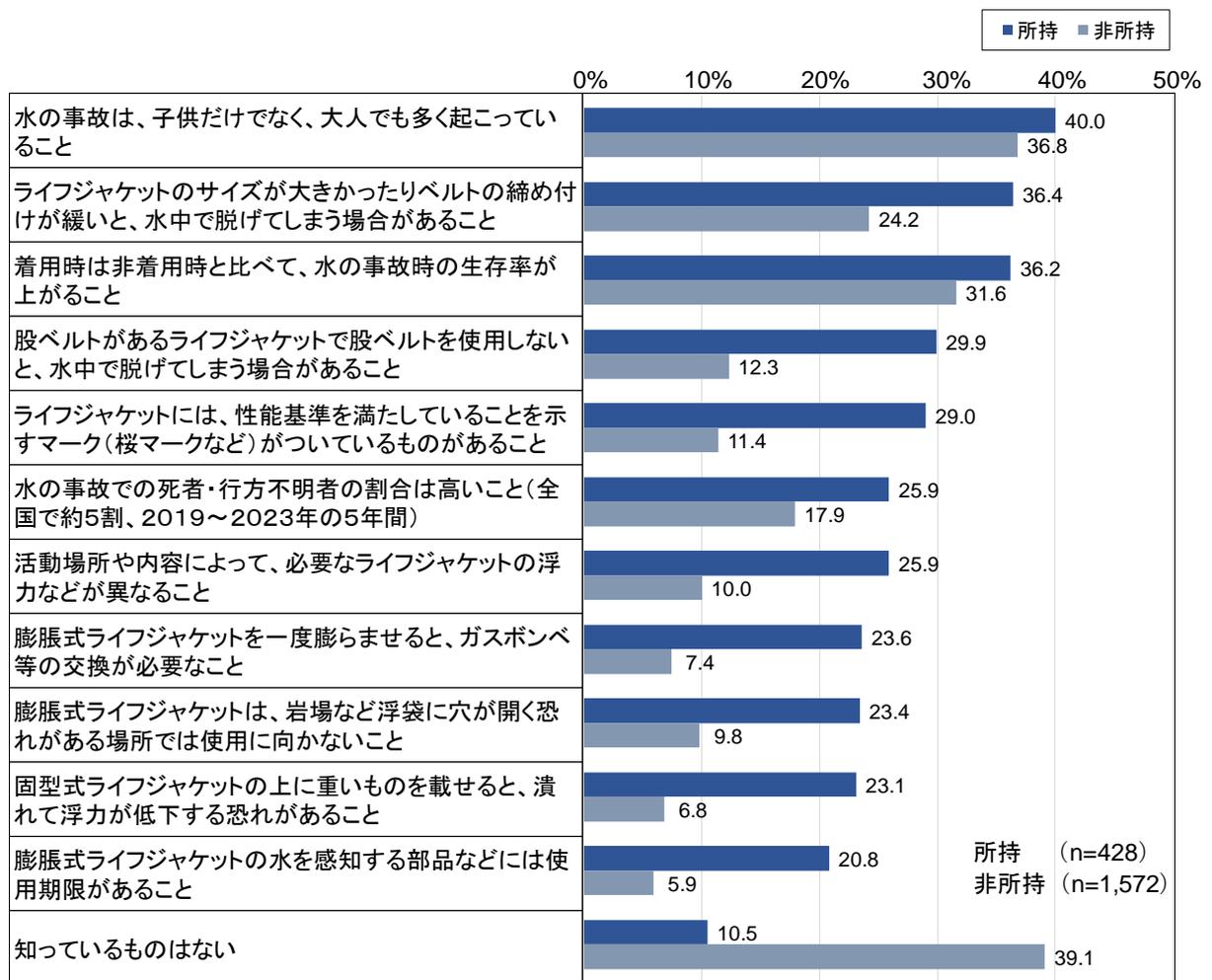


図 37 所持別のライフジャケットに関する知識の認知度 Q12×Q25

### 1.3 ライフジャケットに関する意見・要望等

#### (1) ライフジャケットの改善点

問 あなたがライフジャケットについて改善してほしいと感じる点、こうであれば使いたいと思う点がありますか。

ライフジャケットの改善点について図 38 に、ライフジャケット所持別の回答を図 39 に示す。なお、全体の N 数は回答者数 (2,000) とした。

ライフジャケットの改善点については、「持ち運びのしやすさ、保管のしやすさ」が 28.6%で最も多く、次いで「動きやすさ」が 25.2%、「メンテナンス（部品交換、使用前点検など）の容易さ」が 22.5%となった。

所持別にみると、所持者と非所持者で回答の傾向に大きな差はなく、上位 3 つの項目は同じであった。また、全体的に非所持者に比べて所持者の回答が上回っており、非所持者では「特にない」と回答した割合が 40.6%であった。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「価格」に関する回答が多く確認された。

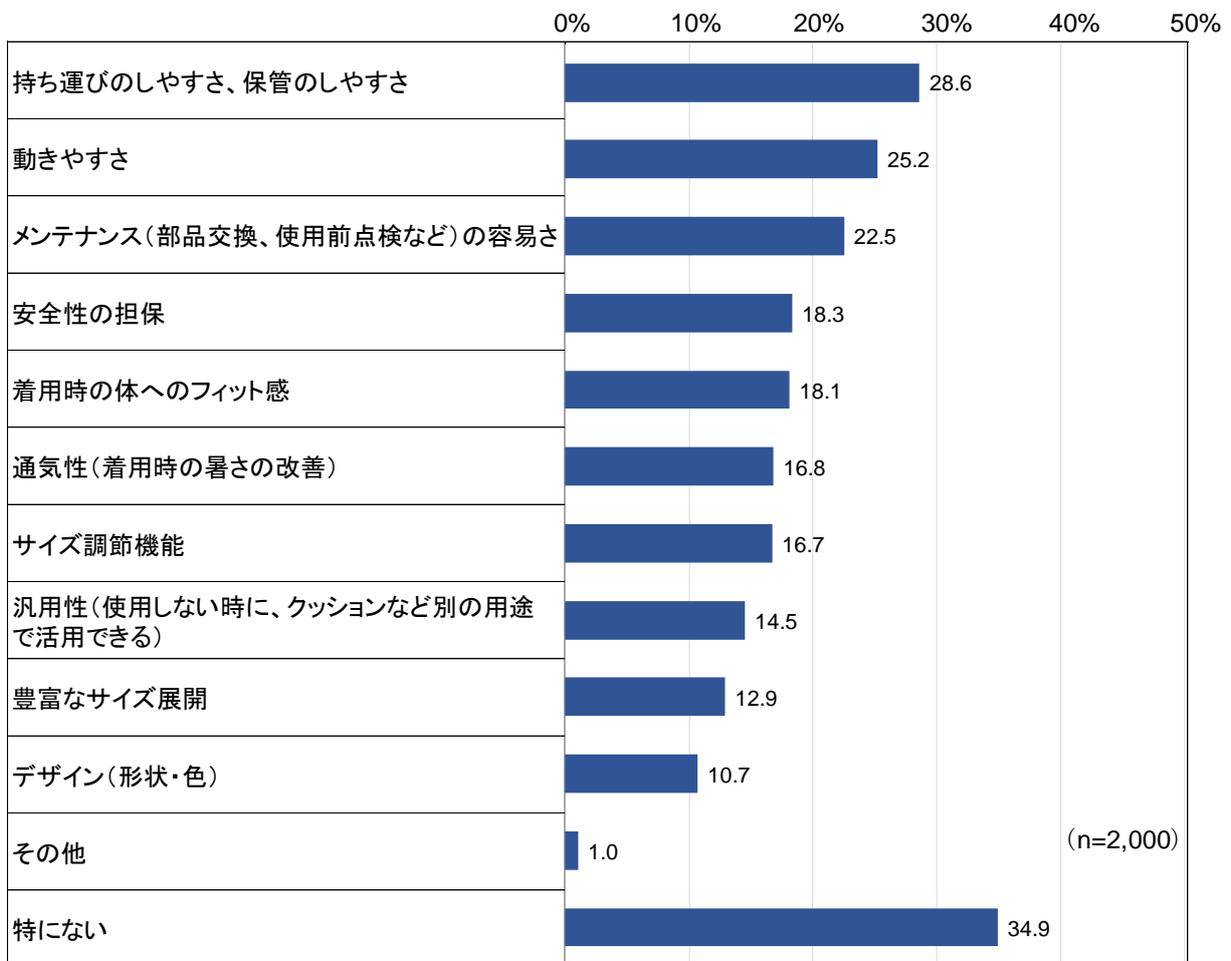


図 38 ライフジャケットの改善点（複数回答） Q26

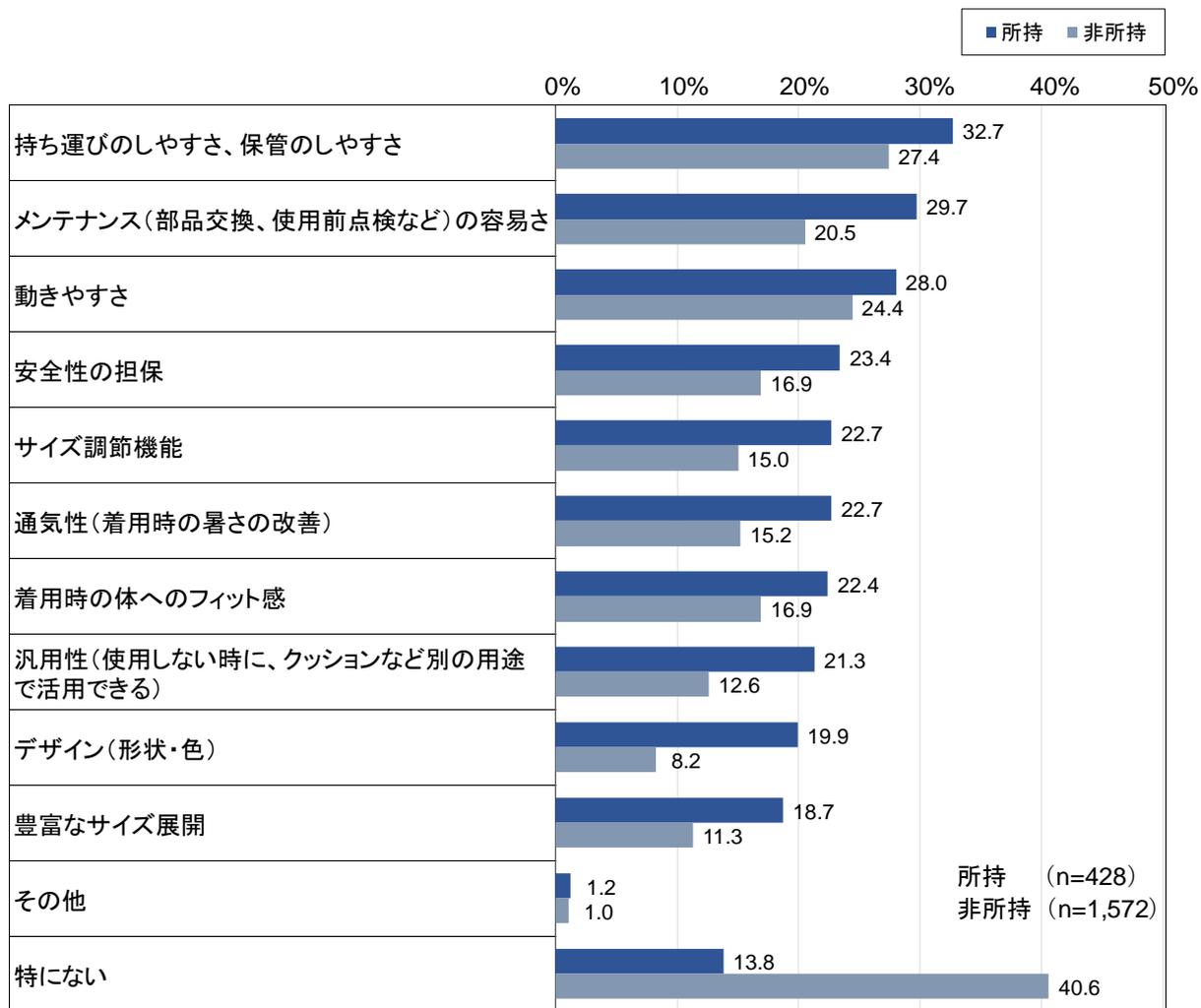


図 39 所持別のライフジャケットの改善点 Q12×Q25

## (2) ライフジャケット普及のための取り組み

問 水辺のレジャー時のライフジャケット着用が社会により浸透するには、どのような取組や環境が必要だと思いますか。現在着用していない方は、どのような取組があれば、着用を考えますか。

ライフジャケット普及のために必要な取組みや環境について図 40 に、ライフジャケット所持別の回答を図 41 に示す。なお、全体の N 数は回答者数 (2,000) とした。

普及のために必要な取組みや環境については、「購入しやすい価格のライフジャケットの普及」が 31.2%で最も多く、次いで「折り畳めたり、コンパクトに収容できるなど、持ち運びしやすいライフジャケットの普及」が 27.6%、「レジャーを行う場所や近隣店舗でのライフジャケットの貸出の推進」が 23.7%となった。

所持別にみると、所持者と非所持者で回答の傾向に大きな差はなかったが、非所持者で「レジャーを行う場所や近隣店舗でのライフジャケットの貸出の推進」と回答した割合が 24.1%と、唯一所持者の回答割合を上回る結果となった。また、全体的に非所持者に比べて所持者の回答が上回っており、非所持者では「特になし」と回答した割合が 31.1%であった。「その他」を選択した自由記述の回答としては、「着用の義務化」、「行政による発信」、「使い捨てマスクのような手軽さ」等が多く確認された。

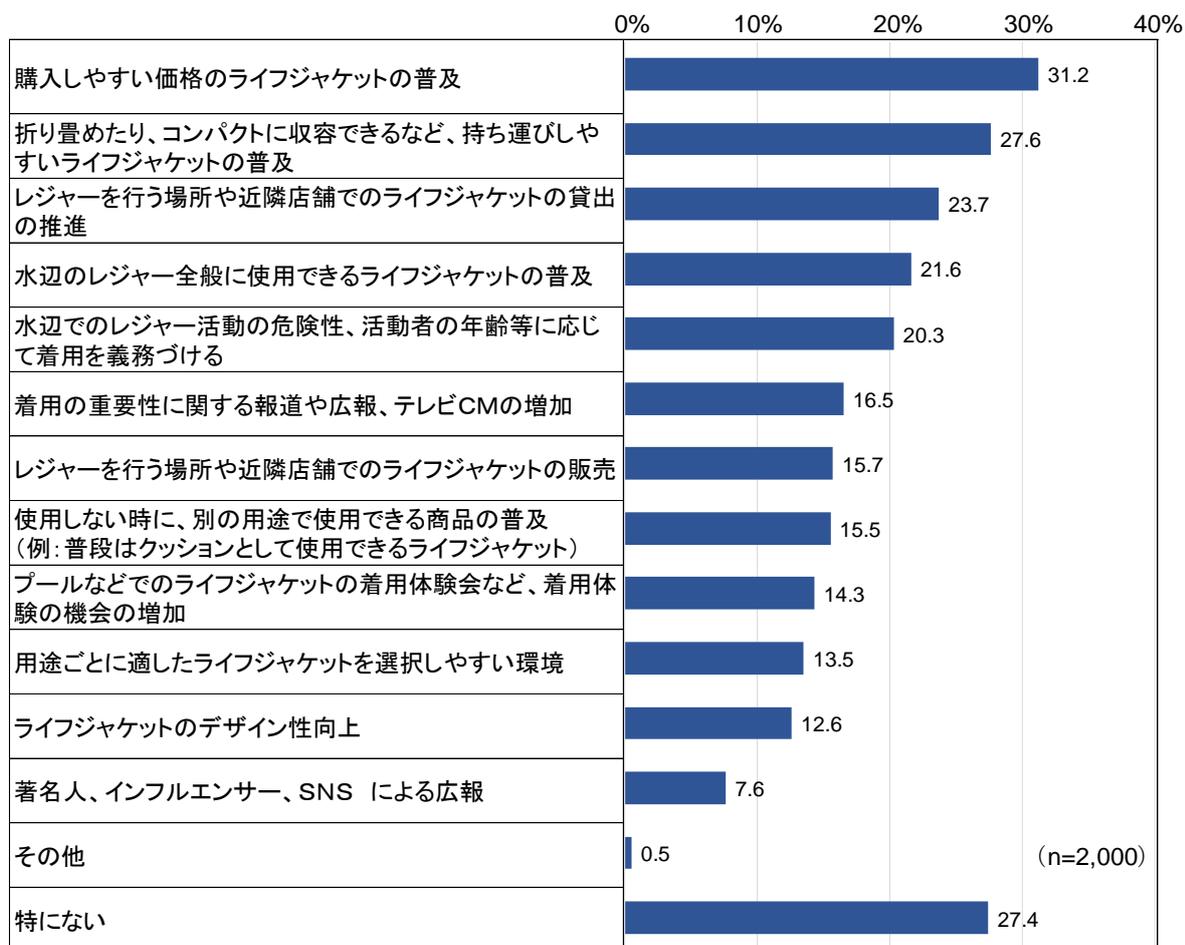


図 40 ライフジャケット普及のための取り組み (複数回答) Q27

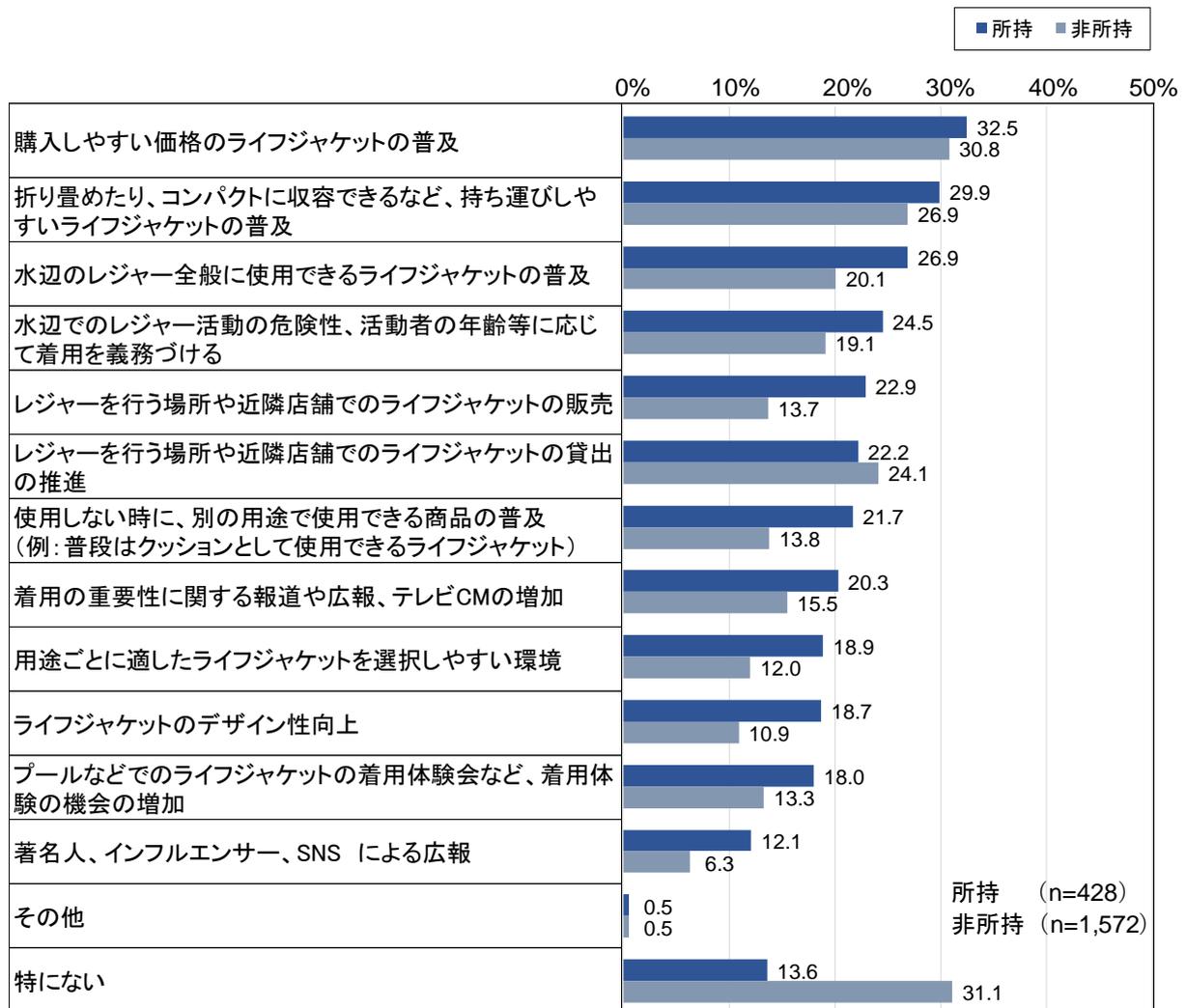


図 41 所持別のライフジャケット普及のための取り組み Q12×Q27

### (3) ライフジャケットに関する意見等

問 ライフジャケットに関する意見や水辺の活動での着用について感じる事など、意見をご自由にお書きください。

ライフジャケットに関する意見や水辺の活動での着用について感じる事など、自由記述形式で尋ねた。得られた回答に対して集計した結果を表4に、その代表的な回答を表5に示す（有効件数の合計 695 件）。また、1つの回答で複数の内容について記載されているものは、それぞれの分類に振り分けて集計した。回答としては、「気づき・経験等」が 220 件と最も多く、次いで「機能・デザイン等」が 169 件、「購入・レンタル等」が 91 件であった。

表4 ライフジャケットに関する意見（集計結果）Q28

大分類	小分類	回答数
気づき・経験等について	着用が必要・重要性の認識・購入を検討したい等	144
	必要性を感じない・着用したことがない・使用頻度が少ない等	53
	海や川の危険性・気づき	11
	着用経験がある	7
	着用したことによる不満	5
機能・デザイン等について	機能性に関する意見・要望	109
	デザインに対する意見・要望	27
	持ち運びに対する意見・要望	21
	サイズに対する意見・要望	12
購入・レンタル等について	レンタルに関する意見・要望	47
	価格・コストパフォーマンスに関する意見・要望	38
	購入場所・気軽さに関する意見・要望	6
情報提供・施策等について	啓発活動・認知向上に関する意見・要望	66
	広告・メディア等による周知	8
	義務教育による着用体験・情報提供	3
	使用方法・メンテナンス方法等の周知	3
義務化・習慣化等について	着用の義務化・努力義務化	56
	習慣化について	3
	着用のチェック	2
	行政の支援について	2
	義務化への反対意見	1
安全面について	安全・安心	26
	安全面に関する不安・要望	4
	適切な着用・点検に関する意見	3
その他	ライフジャケット以外の対策	7
	自己責任	6
	その他	25

表5 ライフジャケットに関する意見（詳細）Q28

分類	具体的な記載内容（抜粋）
<p>気づき・経験等について</p> <p>着用が必要・重要性の認識・購入を検討したい等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• このアンケートでライフジャケットの大切さを再確認することができた。</li> <li>• 命を守る大切な存在である。</li> <li>• 確実に着用しておきたい。</li> <li>• ライフジャケットは荷物になるが、必要だと思う。</li> <li>• 海や川では必ず身につける。</li> <li>• 我が家にはないため購入を検討しようと思う。</li> <li>• 子供は特に着用が必要である。</li> </ul>
<p>必要性を感じない・着用したことがない・ 使用頻度が少ない等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全な所でしか活動しないので、今のところ必要性を感じない。</li> <li>• 子供ばかり気にして大人のことを気にしていなかった。</li> <li>• 水辺での釣り等で危険性を感じていないため、購入するまで考えていない。</li> <li>• 釣りの時に海に入ることは無いので考えたことがない。</li> <li>• 膝より水深が深いところへ行かないのでライフジャケットが必要と考えたことがない。</li> </ul>
<p>海や川の危険性・気づき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防波堤で何度か釣りをしただけだが、確かに落ちる可能性もあると改めて思った。</li> <li>• ライフジャケットは海で沖に出た時に使うものだという固定観念があったが、川でも必要だと気づいた。</li> <li>• 水の危険性を意識して油断しない。</li> </ul>
<p>着用経験がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 深い場所に行くときは着用した。</li> <li>• 沖に出る時は付ける。</li> <li>• 海でのシュノーケリングは良くするが、必ずライフジャケットを着用している。</li> </ul>

表5 ライフジャケットに関する意見（詳細）（続き）Q28

分類	具体的な記載内容（抜粋）
<p>機能・デザイン等について</p> <p>機能性に関する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 着用した時に邪魔にならないようなライフジャケットを開発してもらいたい。</li> <li>• とにかく軽量でかさばらない製品が欲しい。</li> <li>• 必要性はすごく感じるが、手軽に購入できるというイメージがないので、もっと手軽に購入でき、保管場所が嵩張らないというものがあるといいなと思う。</li> <li>• あったほうが安全であることは理解しているが、使用頻度の少なさと価格の高さ・動きにくさで欲しいと思えない。</li> <li>• 命を守る物ではあるが装着すると邪魔になることもある。そこが改善すると嬉しい。</li> <li>• 素材が硬くて動きにくい。</li> </ul>
<p>デザインに対する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 正直ライフジャケットは身近に感じない。もっと機能の兼用できるタイプでレジャーファッションとして普及すれば良いと思う。</li> <li>• 仕方ないが、かなり目立つ色合いなのでずっと着用している気持ちになれない。</li> <li>• 着用義務がなければ着用するのが恥ずかしくて着用しようと思えないので、着用しやすいデザインのものがあればいいと思う。</li> <li>• 色やデザインが豊富であると着用率が上がるのではないかな。</li> </ul>
<p>持ち運びに対する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あるに越した事はないが、かさ張るので持って行きたくない。</li> <li>• 持っていくには大きくかさばる。</li> <li>• 簡単に持ち運べ、動きやすいものがあれば着たい。</li> </ul>
<p>サイズに対する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身体が小さいので、いつも合うサイズがないのが困る。</li> <li>• サイズ展開が少ない気がする。体型にあったものがもっと選べるといい。</li> <li>• 子供はすぐに大きくなるので、より細かなサイズ調整が出来ると良い。</li> </ul>

表5 ライフジャケットに関する意見（詳細）（続き）Q28

分類	具体的な記載内容（抜粋）
<p><b>購入・レンタル等について</b>                      レンタルに関する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海や川のレジャーの場所でのライフジャケットの貸し出しをもっと多くしてもらえると、減多に海や川のレジャーをしない人でもライフジャケットを着用しやすくなると思う。</li> <li>• 無料でライフジャケットの貸し出しをするべきだと思う。</li> <li>• レンタルの場合、メンテナンスなどの状態によって使いにくいものがあった。着用感やサイズのフィット感など豊富に選択できるといいなと思った。</li> <li>• 大人でライフジャケットを常備している人は少ないと思うので、現地でレンタルや無償提供を充実させてほしい。</li> </ul>
<p>価格・コストパフォーマンスに関する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 価格が高すぎて購入する事に躊躇してしまう。</li> <li>• 費用対効果の高いものが望ましい。</li> <li>• 価格が高いように思うので、減多に釣りをしない人には普及しにくいと思う。</li> </ul>
<p>購入場所・気軽さに関する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 販売場所を良く知らない。</li> </ul>
<p><b>情報提供・施策等について</b>                      啓発活動・認知向上に関する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライフジャケットは、急流の川下りなど危険性が高いものに着用するというイメージを持っている人が多いと思うので、もっと必要性を普及した方がいいと思う。</li> <li>• 着用率を上げるには、とにかく啓もうしかないのかなと思う。</li> <li>• 釣りや海辺、水辺での事故は生命にかかわる。子どもたちにも身を守ることの重要性を伝えてほしい。</li> <li>• ライフジャケットを使用しない場合のリスクをもっと周知すべき。</li> <li>• 川遊びが危険だということがあまり知られていない。</li> <li>• 講習会などを増やし、水着と普通の着衣のとことでは感覚が大きく異なることや、事故が起きたときに命を守るノウハウについて啓もうする必要があると思う。</li> </ul>

表5 ライフジャケットに関する意見（詳細）（続き）Q28

分類	具体的な記載内容（抜粋）
広告・メディア等による周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 意識付けの広告が有用だと思う。</li> <li>• もっとライフジャケットの必要性や安全性を認知するCM等が必要だと思う。</li> <li>• 飛行機の中でライフジャケットの着用の注意がビデオで流れるように、水辺の活動についてもTVや新聞などで頻繁に紹介されることが重要だと思う。</li> </ul>
義務教育による着用体験・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校の水泳の授業で着用体験をしてみる機会があるとよい。</li> </ul>
使用方法・メンテナンス方法等の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プールではライフジャケットを着ていた事で死亡事故も起きている。ライフジャケット使用時の説明と用途を周知する必要がある。</li> </ul>
<b>義務化・習慣化等について</b> 着用の義務化・努力義務化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 危険な場所でのライフジャケット着用の義務化を推進してほしい。</li> <li>• 場所によっては義務化が必要、その為レンタル等を普及させる必要がある。</li> <li>• 自転車のヘルメット着用の努力義務があるように、海や川で遊ぶ場合のライフジャケット着用を努力義務と定めても良いと思う。</li> <li>• 子供は義務でよいと思う。</li> </ul>
習慣化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 着用することに慣れることが肝要である。</li> </ul>
着用のチェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 監視員が居る場所では着用のチェック。</li> </ul>
行政の支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライフジャケットは有効であり、行政が手厚く支援すべきである。</li> </ul>

表5 ライフジャケットに関する意見（詳細）（続き）Q28

分類	具体的な記載内容（抜粋）
<p>安全面について</p> <p>安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全なものを使いたい。</li> <li>• いつも着用していて安心感がある。</li> <li>• 最初はライフジャケットを着用するのが面倒でカッコ悪く見えたが、一度着用すると楽で安心感があり、ライフジャケットを着用するからこそ出来る遊びが好きになった。</li> </ul>
<p>安全面に関する不安・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 着用により「安全」を過信する事の方が危険である。</li> <li>• 不良品があってはならない。</li> </ul>
<p>適切な着用・点検に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• きちんと着用しなければ安全ではないので注意が必要である。</li> </ul>
<p>その他</p> <p>ライフジャケット以外の対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 流された時の安全性よりも、流されないための安全性を重視する。(ハーネス、ロープ等)</li> <li>• ライフジャケット前提の水辺の活動自体を考えた方がよい。ライフジャケットが不要な遊び場をそもそも開発すべきかと思う。</li> </ul>
<p>自己責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の命は自分で守ることが重要である。</li> <li>• 自分のことは自分で守る、自己管理責任の浸透が必要である。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供達だけで絶対遊ばせない。</li> <li>• 水難事故に対して恐怖心があり水に近づかないようにしているが、ライフジャケットに興味を持てた。</li> <li>• 過保護になり過ぎているような気がする。</li> </ul>